



Wi-Fi中継機

WEX-1800AX4EAシリーズ

ユーザーマニュアル

3

<https://www.buffalo.jp/>

本書について

- 本書の著作権は当社に帰属します。本書の一部または全部を当社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられております。
- 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があります。現に購入された製品とは一部異なることがあります。
- 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または当社サポートセンターまでご連絡ください。
- 本製品(付属品等を含む)を輸出または提供する場合は、外国為替及び外国貿易法および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認の上、必要な手続きをおとりください。
- 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。
- 本書では、ネットワークに接続される機器(パソコン、サーバー、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、Wi-Fiルーター、Wi-Fi中継機、ハブ、プリンターなど)を含めて、「機器」と記載しています。
- 本書で記載している「記号」は、環境依存文字ではない下記の半角文字をあらわします。
!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[¥]^_`{|}~ および半角スペース
「¥(円マーク)」は、使用環境によって「\ (バックスラッシュ)」表示になる場合があります。

操作方法について

本書では、パソコンでご利用になる場合を想定した操作方法を説明しています。タブレットをお使いの場合は、「クリック」を「タップ」と読み替えるなどして、本書をご活用ください。

目次

本書について	1
操作方法について	1

第 1 章 本製品の概要と使い方 6

本製品の特長	6
動作環境	7
本製品の設定を変更するには	8
スマートフォン・タブレットをお使いの場合	8
Windowsをお使いの場合	9
Macをお使いの場合	12
Wi-Fi EasyMesh™でメッシュネットワークを構築して接続する	15
Wi-Fi CERTIFIED EasyMesh®とは	15
EasyMeshでの注意事項	16
EasyMeshを使うための設定手順	17
A. LANケーブルを接続して設定する	17
B. AOSS(WPS)ボタンを押して設定する	20
EasyMesh設定後の本製品の設置について	22
メッシュネットワークを構築しないで接続する	22
中継機用SSIDの使用(EasyMeshでの接続時を除く)	23
Windowsの場合	23
Macの場合	24
iOSの場合	25
Androidの場合	26
新しく購入した機器を追加する	27
WPSボタンで接続する	27

設定画面からWPSで接続する	28
手動で本製品に接続するには	28
ほかの機器から検索できなくする (ANY接続拒否設定)	29
アクセス可能な機器を制限する (MACアクセス制限)	30
Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する	30
Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する	32
機器同士の通信を禁止する (プライバシーモード)	33
本製品をイーサネットコンバーター (子機) として使う	34
本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす	35
2台目を接続する	35
本製品のIPアドレスを変更する	37
Windowsをお使いの場合	37
Macをお使いの場合	41
本製品の設定を保存・復元する	44
設定を保存する	44
設定を復元する	45
本製品のファームウェアを更新する	46
自動的に更新する場合	46
手動で更新する場合	47
ランプを消灯する	47

第2章 設定画面の詳細情報 48

かんたん設定と詳細設定について	48
かんたん設定画面	50
トップ画面	50
中継機設置ガイド	51

Wi-Fiルーターと接続	53
無線端末とWPSでつなぐ	53
Wi-Fiルーターを選択してつなぐ	54
無線LAN	55
オンラインアップデート	56
EasyMesh.....	57
詳細設定画面	58
LAN	58
2.4 GHz(11ax/n/g/b)	59
5 GHz(11ax/ac/n/a)	62
MACアクセス制限.....	65
マルチキャスト制御	66
EasyMesh/中継機能(WB)	67
システム設定	69
ログ	70
設定管理/再起動.....	71
ファームウェア更新	72
システム	74
ログ	75
通信パケット	75
診断	76

第3章 困ったときは..... 77

Wi-Fi接続が切れる/不安定、通信が遅い	77
Wi-Fiでつながらない	78
設定画面が表示できない	79
設定を出荷時の状態に戻したい	79
EasyMeshで接続できないときは.....	80

第4章 付録	81
製品仕様	81
各部の名称とはたらき	82
初期設定一覧	84
電波に関する注意	87
Wi-Fi(無線LAN)製品ご使用時におけるセキュリティーに関する 注意	88
免責事項	89
商標・登録商標	89

第1章 本製品の概要と使い方

本製品の特長

大容量・多台数通信に強いWi-Fi 6(11ax)に対応

高画質な動画配信サービスなど大きなデータを扱うコンテンツや、たくさんの機器との同時通信に強い、Wi-Fi 6(11ax)に対応しています。

EasyMeshに対応

EasyMesh対応のWi-Fiルーターと組み合わせて、メッシュネットワークを構築できます。

メッシュネットワークでは、ネットワークの管理を行うコントローラとエージェントが連携し情報共有することで、最適なWi-Fiネットワークを自動構築します。また、メッシュネットワーク内のより安定した接続先を検知し、機器に切替を促すことが可能なので、家の中を移動しながらでも快適にWi-Fiをご利用いただけます。詳しくは、[\[Wi-Fi CERTIFIED EasyMesh®とは\]\(P.15\)](#)を参照してください。

ビームフォーミングに対応

ビームフォーミングは、機器にめがけて集中的に電波を送信する機能です。

機器の位置や距離を判別し、電波を適切に届けることができます。

メモ:

- ・ ビームフォーミングは、常に有効に設定されています。無効にできません。
- ・ ビームフォーミングに対応した機器に対して使用できます。

中継機設置ガイドに対応

Wi-Fiルーター(無線LAN親機)、Wi-Fi中継機(無線LAN中継機)、Wi-Fiアダプター(無線LAN子機)の通信状態が一目で分かり、最適な設置場所をガイドします。

メモ: メッシュネットワークに接続している場合、「中継機設置ガイド」は使用できません。

動作環境

Wi-Fi中継機本体とWi-Fi接続するときの対応機器

Wi-Fi機能に対応したパソコン、Mac、スマートフォン、タブレット、ゲーム機など

Wi-Fi中継機を設定変更するときの対応機器・対応OS・対応ブラウザ

<対応機器>

パソコン、Mac、スマートフォン^{※1}、タブレット^{※1}

<対応OS>

Windows 11/10^{※2}/8.1^{※2}

macOS 10.13以降

iOS 12以降

iPadOS 15以降

Android 7以降

<対応ブラウザ>

Microsoft Edge、Chrome、Firefox、Safari

※1 標準搭載のブラウザを使った初期設定(インターネット接続設定)のみ対応しています。

※2 64ビットと32ビットに対応しています。

本製品の設定・利用時に使用するソフトウェア

以下ダウンロードページの記載を確認してください。

<https://www.buffalo.jp/product/detail/software/wex-1800ax4ea.html>

本製品の設定を変更するには

スマートフォン・タブレットをお使いの場合

「AirStationアプリ※」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品の設定を変更します。

※バージョン3.0以降、アプリ名称を「StationRadar」から「AirStationアプリ」に変更しています。本書では、AirStationアプリを使用した例を説明しています。

メモ:

- AirStationアプリは、App StoreまたはGoogle Playでダウンロードできます。
- スマートフォンやタブレットを本製品に接続した状態で使用してください。



1 AirStationアプリを起動します。

メモ: はじめて起動したときは、「このアプリでできること」が表示されます。このようなときは、[次へ]をタップして画面を進めてください。

2 AirStationアプリを起動すると、自動的に検索が始まります。本製品が見つかったら、本製品の製品名をタップし、[設定画面を表示する]をタップします。

3 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をタップします。



ユーザー名
admin

パスワード
.....

☐ モバイル用設定画面

ログイン

メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

4 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。



Windowsをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品の設定を変更します。

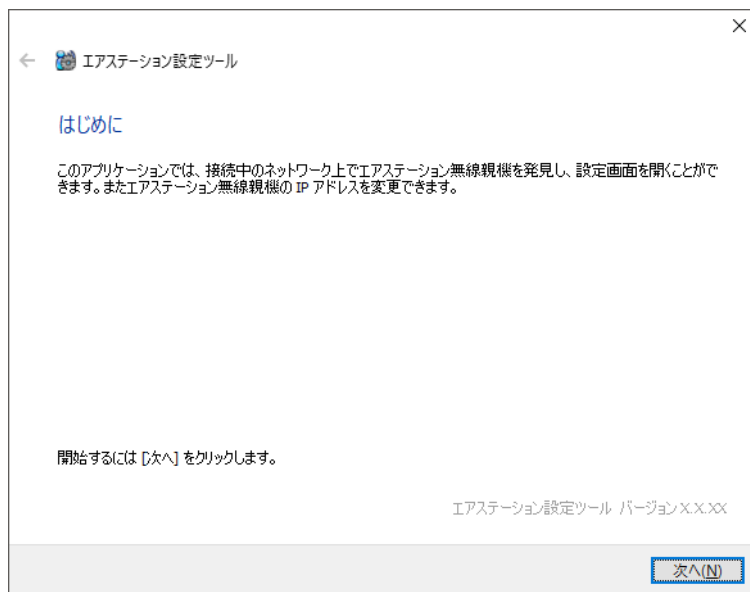
メモ:

- ・エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- ・パソコンを本製品に接続した状態で使用してください。

1 エアステーション設定ツール を起動します。

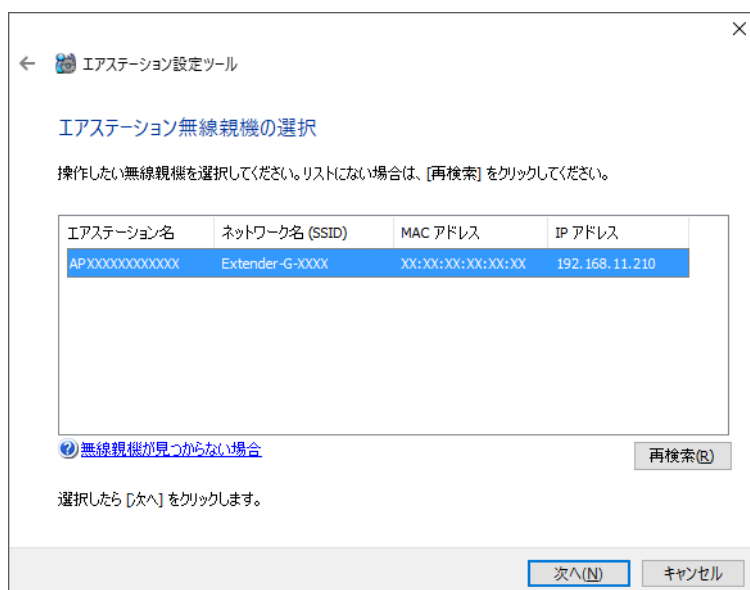
インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。



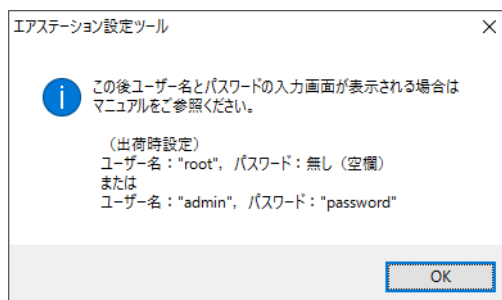
メモ:

- ・ ネットワーク名 (SSID) が「Extender」で始まるものを選択してください。
- ・ 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス (本体のラベルで確認できます) で判別してください。

4 [設定画面を開く] をクリックします。



5 [OK] をクリックします。



本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このパソコンのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。しばらくすると、パソコンに新しいIPアドレスが設定され、手順6の画面が表示されます。「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

- 6** セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。



The login screen features a light gray background. At the top, the text 'ユーザー名' (Username) is followed by a text input field containing 'admin'. Below this, the text 'パスワード' (Password) is followed by a text input field filled with dots. Underneath the password field is a checkbox labeled 'モバイル用設定画面' (Mobile setup screen). At the bottom center is a dark gray button with the text 'ログイン' (Login).

メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

- 7** 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。




メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

Macをお使いの場合

「エアステーション設定ツール」を使って本製品の設定画面にアクセスし、本製品の設定を変更します。

メモ:

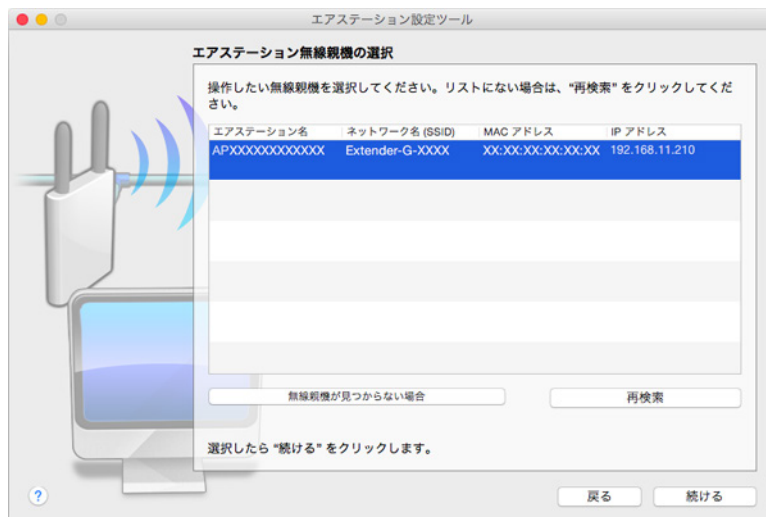
- ・エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- ・Macを本製品に接続した状態で使用してください。

1 エアステーション設定ツール  を実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



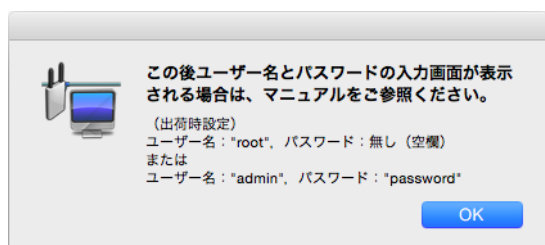
メモ:

- ・ネットワーク名(SSID)が「Extender」で始まるものを選択してください。
- ・「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス(本体のラベルで確認できます)で判別してください。

4 [設定画面を開く]をクリックします。



5 [OK]をクリックします。



本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「IPアドレス設定」画面が表示されます。その場合は、「このMacのIPアドレスを設定する」をクリックし、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動的に取得する」をクリックしてください。Macのパスワードを要求された場合はパスワードを入力して[OK]をクリックします。しばらくするとMacに新しいIPアドレスが設定され、「設定完了」画面が表示されます。[親機選択画面に戻る]をクリックし、もう一度手順3から行ってください。

6 セットアップカードに記載されているユーザー名とパスワードを入力して、[ログイン]をクリックします。



メモ: パスワードを変更した場合は、変更後のパスワードを入力してください。

7 本製品の設定画面が表示されたら、設定を行います。



メモ: 設定画面のウィンドウの下に、「無線親機の設定画面を開きました」という画面が表示されています。[完了]をクリックして、画面を閉じてください。

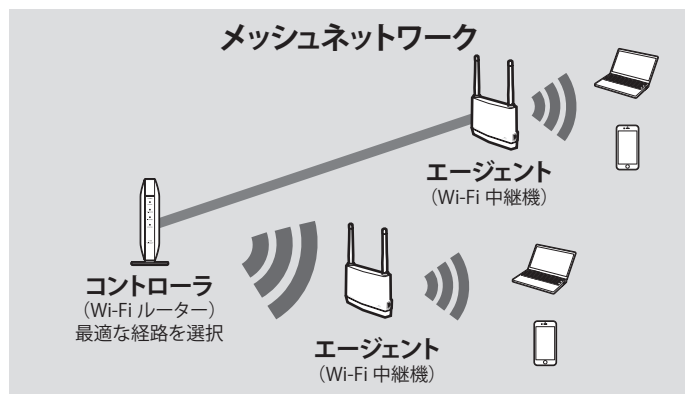
Wi-Fi EasyMesh™でメッシュネットワークを構築して接続する

Wi-Fi CERTIFIED EasyMesh®とは

「Wi-Fi CERTIFIED EasyMesh®」とは、Wi-Fi Alliance の認定規格であり、EasyMeshに対応していれば異なるメーカー製品間でもメッシュネットワークを構築できます。

メッシュネットワークでは、ネットワークの管理を行う「コントローラ (Wi-Fiルーター)」と「エージェント (Wi-Fi中継機)」が連携し情報共有することで、最適なWi-Fiネットワークを自動構築します。また、メッシュネットワーク内のより安定した接続先を検知し、機器に切替を促すことが可能なので、家の中を移動しながらでも快適にWi-Fiをご利用いただけます。

メモ: 本製品は、「エージェント (Wi-Fi中継機)」として使用できます(「コントローラ」としては使用できません)。



EasyMeshには、次の特長があります。

- コントローラとLANケーブルで一度接続するだけで、エージェントとして使用できます。従来のAOSSボタンやWPSボタンを使用する方法よりも簡単に中継設定できます。
- コントローラが経路を自動で最適化するので、接続や通信が安定して使用できます。

EasyMeshでの注意事項

EasyMeshでメッシュネットワークを構築可能なWi-Fi機器について

- ・ コントローラおよびエージェントとして使用する「Wi-Fiルーター、Wi-Fi中継機」が、すべてEasyMeshに対応している必要があります。

当社製品のEasyMesh対応の型番とファームウェアのバージョンは、下記URLを参照してください。

<https://www.buffalo.jp/support/taiou/easymesh.html>

Wi-Fi機器の設定・構成について

- ・ ネットワーク内にあるWi-Fi機器の1台のみが、コントローラとして設定されている必要があります(コントローラは2台以上設置できません)。

設定内容の確認方法は、コントローラの取扱説明書を参照してください。

(当社製Wi-Fiルーターの設定例)

MANUAL/AUTOスイッチが「AUTO」になっている

ROUTER/AP/WBスイッチが「ROUTER」になっている など

- ・ コントローラに接続できるエージェントの台数は、コントローラによって異なります。エージェントの最大接続台数については、コントローラの取扱説明書を参照してください。
- ・ コントローラとWi-Fi接続しているエージェントは、ほかのエージェントと有線接続しないでください。
- ・ インターネットにアクセスするには、コントローラがインターネットに接続されている必要があります。接続手順については、コントローラの取扱説明書を参照してください。

その他

- ・ 本製品のSSIDは、コントローラのSSIDとなります(本製品から中継機用SSID(Extender-X-XXXX)は発信されません)。

中継機用SSID(Extender-X-XXXX)を使用する場合は、**2-B** セットアップガイド 中継機接続編 を参照して設定してください。

EasyMeshを使うための設定手順

設定手順は、2つ方法があります。どちらかの手順でコントローラと接続してください。

- ・ [「A. LANケーブルを接続して設定する」\(P.17\)](#)
- ・ [「B. AOSS\(WPS\)ボタンを押して設定する」\(P.20\)](#)

メモ:

- ・ 本製品には、LANケーブルは付属しておりません。別途、LANケーブルをご用意ください。メッシュネットワークに、LANケーブルを使わずに接続する場合は、[「B. AOSS\(WPS\)ボタンを押して設定する」\(P.20\)](#)を参照してください。
- ・ 複数台のエージェントをメッシュネットワーク内に設置する場合でも、各エージェントで下記のどちらかの手順でコントローラと接続してください。
- ・ すでに設定完了済みの状態の本製品を使用する場合は、本製品の設定を初期化してください。初期化方法については、[「設定を出荷時の状態に戻したい」\(P.79\)](#)を参照してください。

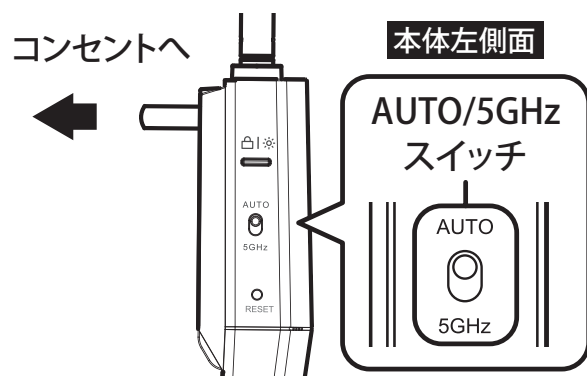
A. LANケーブルを接続して設定する

1 Wi-Fiルーターが、コントローラとして動作しているのを確認します。

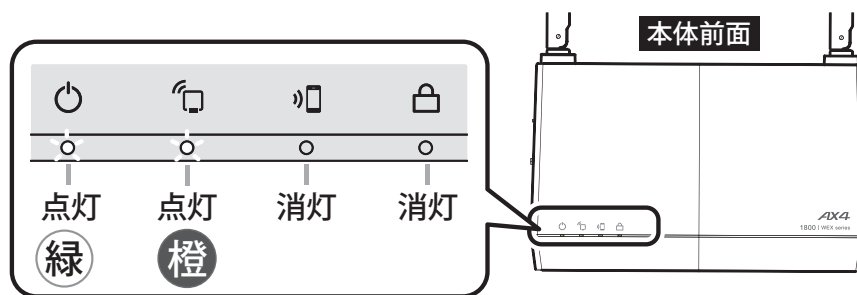
(当社製品のコントローラの設定例)

MANUAL/AUTOスイッチが「AUTO」になっている、ROUTER/AP/WBスイッチが「ROUTER」になっているなど。

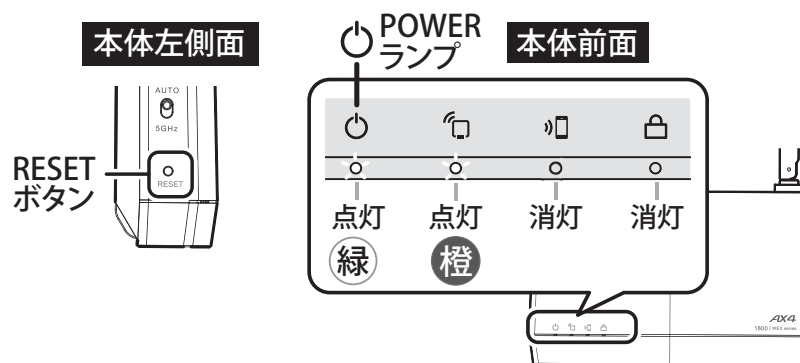
2 本体側面のAUTO/5GHzスイッチを「AUTO」にしてから、本製品をコントローラの近くのコンセントに差し込みます。



- 3** コンセントに差し込んでから約1分後、本製品の前面ランプが以下の状態になっていることを確認します。

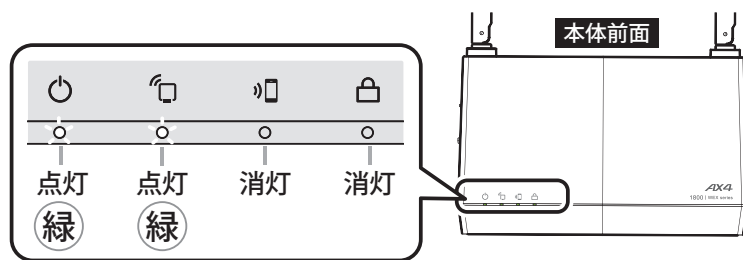


メモ: 上記以外の点灯状態の場合、本体側面のRESETボタンを先の細いもの(つまようじなど)でカチッというまで押し込み、POWERランプが消灯(約5秒間)するまで押し続けてください。その後ランプが下記の点灯状態になるまでお待ちください。



- 4** 本製品のLAN端子と、コントローラのLAN端子をLANケーブルで接続します。

5 LANケーブルを接続してから約2分後、本製品の前面ランプが以下の状態になっていればコントローラとの接続は完了です。



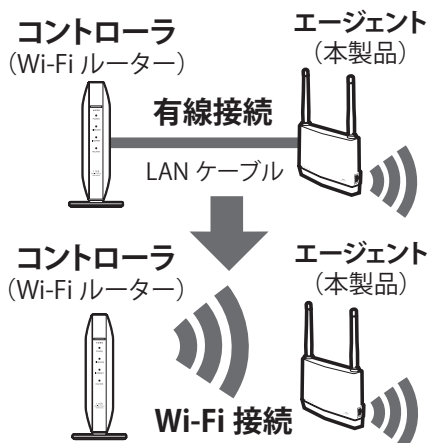
以上で完了です。

メモ: 接続完了後は、下図のとおり、LANケーブルを外して、コントローラとWi-Fi接続して使用することもできます。

LANケーブルを外し、約2分後、本製品の親機接続ランプが緑色に点灯または点滅(※)していれば、コントローラとのWi-Fi接続は完了です。

※点滅している場合は、コントローラとの通信が良好ではないため、親機接続ランプで通信状態を確認して、本製品の設置位置をコントローラの近くに移動させてください。

緑色に点灯または点滅していないときは、本製品のコンセントから取り外し、手順1からやり直してください。



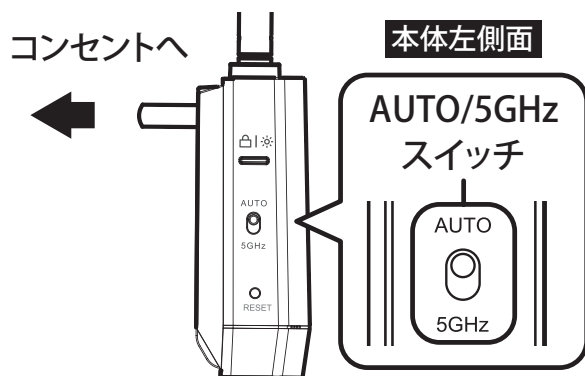
B. AOSS(WPS)ボタンを押して設定する

1 Wi-Fiルーターが、コントローラとして動作していることを確認します。

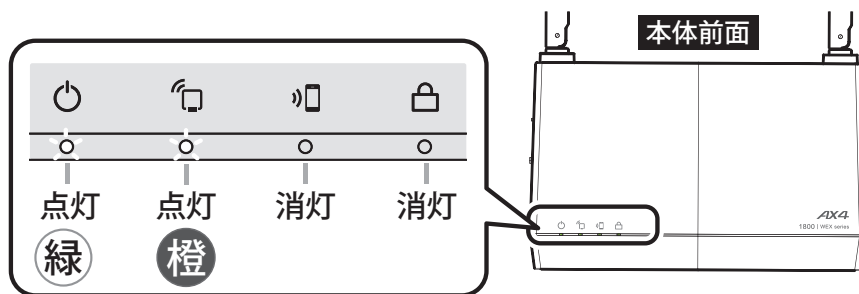
(当社製品のコントローラの設定例)

MANUAL/AUTOスイッチが「AUTO」になっている、ROUTER/AP/WBスイッチが「ROUTER」になっているなど。

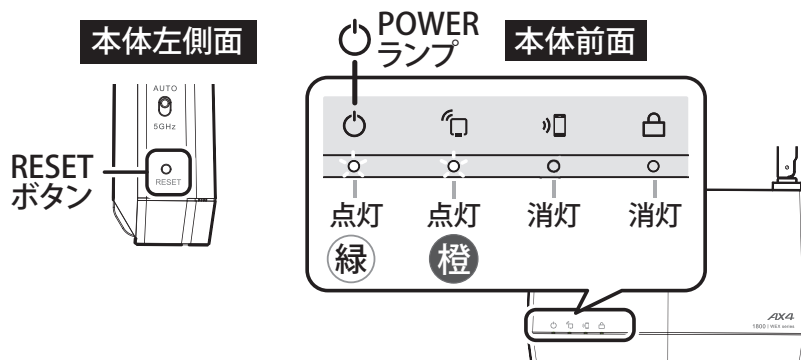
2 本体側面のAUTO/5GHzスイッチを「AUTO」にしてから、本製品をコントローラの近くのコンセントに差し込みます。



3 コンセントに差し込んでから約1分後、本製品の前面ランプが以下の状態になっていることを確認します。



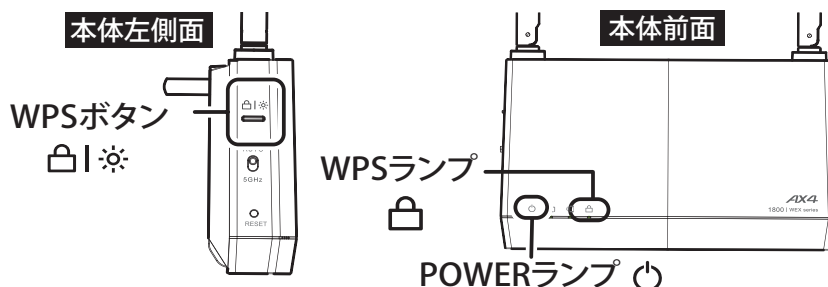
メモ: 上記以外の点灯状態の場合、本体側面のRESETボタンを先の細いもの(つまようじなど)でカチッというまで押し込み、POWERランプが消灯(約5秒間)するまで押し続けてください。その後ランプが下記の点灯状態になるまでお待ちください。



4 本製品のWPSボタンを、約2秒以上（WPSランプが2回ずつ点滅するまで）押し続けます。

2回ずつ点滅したら、ボタンから手を離します。

メモ: POWERランプとWPSランプがどちらも消灯している場合は、ランプを消灯させる機能が有効になっています。本製品をコンセントから取り外し、もう一度差し込んだ後にPOWERランプが点灯したことを確認し、手順4を実施してください。



5 現在お使いのコントローラのWPS(またはAOSS)ボタンを押して、WPS接続を開始します。

メモ: ボタンを押す間隔は、お使いのコントローラによって異なります。

当社製品のコントローラの場合

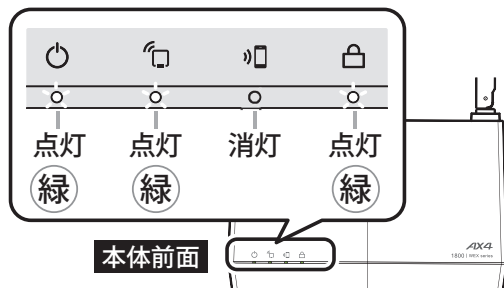
AOSSボタンをワイヤレスランプ(またはセキュリティランプ)が2回ずつ点滅するまで(※)押し続けてください。

※無線引越し機能が作動することがあるため、10秒以上押さないでください。

6 接続設定が完了するまで、約2分待ちます。

メモ: この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。

7 前面ランプが以下の状態になっていればコントローラとの接続は完了です。



メモ:

- WPSランプは、5分間点灯した後消灯します。
- 一時的な無線環境の影響により親機接続ランプが点滅することがあります。その際は、時間を空けて接続をお試しください。
- コントローラのWPSまたはAOSSボタンを押してから約2分経過しても、上記以外のランプ状態の場合は、手順3のメモを参考にして、本製品を初期化後、コントローラを再起動し、本製品とコントローラを近づけて、手順1～7をもう一度行ってください。
- これらの手順でもEasyMeshで接続できないときは、本製品のファームウェアを最新バージョンに更新してから、手順1～7をもう一度行ってください。更新する方法については、下記URLを参照してください。

<https://www.buffalo.jp/support/faq/detail/128.html>

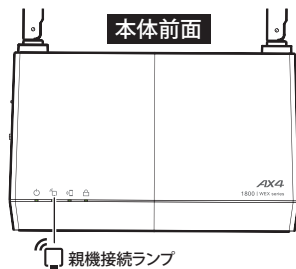
以上で完了です。

メモ: これらの手順でもEasyMeshで接続できないときは、製品に付属の **2-B** セットアップガイド 中継機接続編 おもて面「[B] WPSまたはAOSSボタンがない場合の手順」をお試しください。

EasyMesh設定後の本製品の設置について

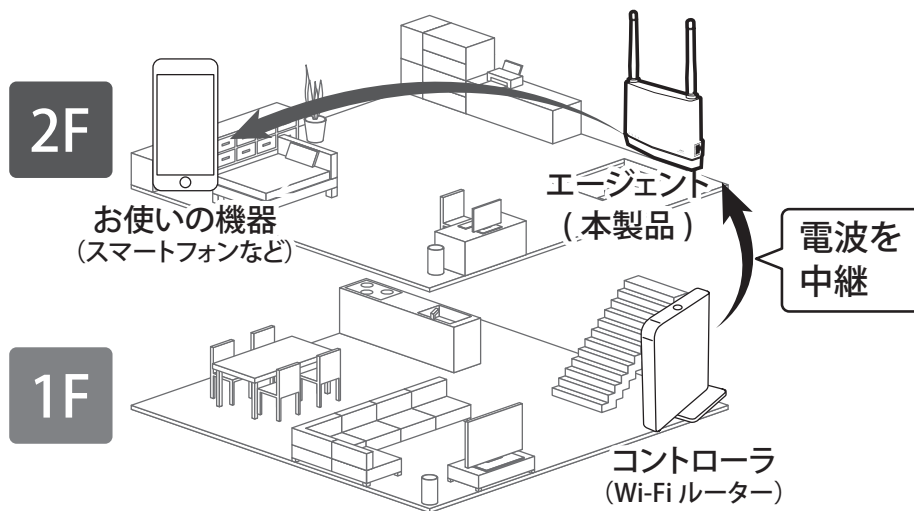
設定が完了したら、コントローラと、お使いの機器を利用する場所の中間付近のコンセントに本製品を取り付けます。

コントローラと本製品の通信状態は親機接続ランプで確認できます。



点灯(緑)	通信状態は良好
ゆっくり点滅(緑)	通信状態がやや悪い(※)
速く点滅(緑)	通信状態がかなり悪い(※)

※もう少しコントローラに近い場所へ本製品を移動してください。



メッシュネットワークを構築しないで接続する

メッシュネットワークを構築しないで本製品をWi-Fiルーター(親機)に中継機接続したいときは、以下の手順で行ってください。

1 本製品の接続先Wi-Fiルーター(親機)のEasyMesh機能を無効に設定してください。

メモ: 設定手順は、Wi-Fiルーター(親機)に付属の取扱説明書を参照してください。

2 本製品に付属の **2-B** セットアップガイド 中継機接続編 に従って、設置・設定をしてください。

以上で設定は完了です。

中継機用SSIDの使用(EasyMeshでの接続時を除く)

本製品をWi-Fiルーターに接続すると、本製品はWi-Fiルーターから引き継いだSSID/暗号化設定で動作します。そのため、お使いの機器や設置環境によっては、電波の弱いWi-Fiルーターから電波の強い本製品に接続が切り替わらないことがあります。

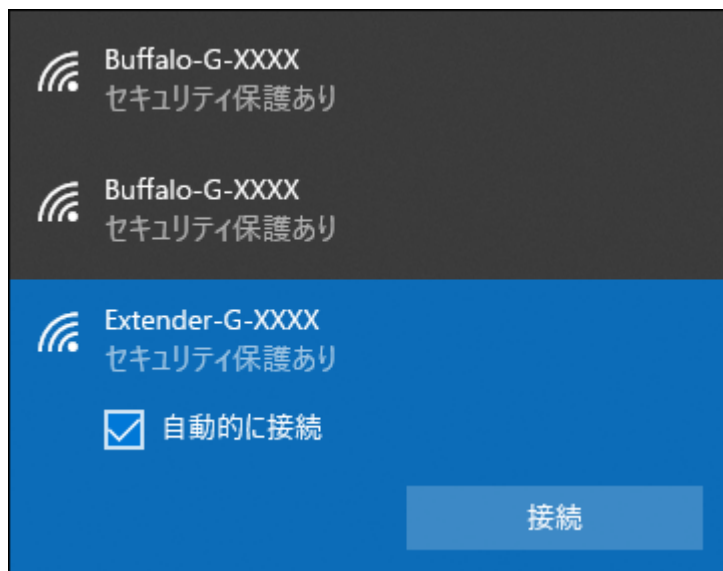
その場合は、本製品が独自に発信する「中継機用SSID」に接続することで、確実に本製品に接続できます。

メモ: 中継機用SSIDは、5 GHz用の「A」と2.4 GHz用の「G」の両方が発信されています。お使いの環境に応じて、どちらかを選択してください。接続方法は以下を参照してください。

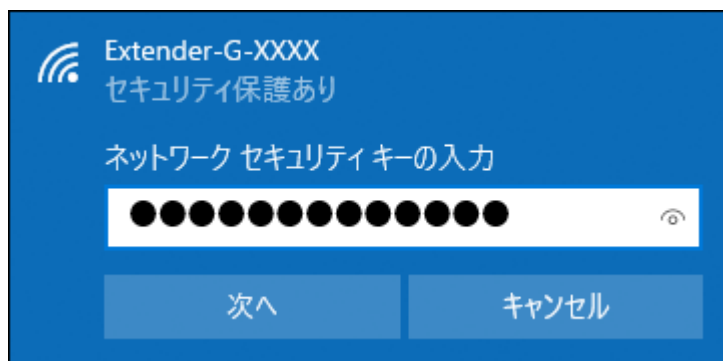
Windowsの場合

- 1 タスクトレイのワイヤレスアイコン(、、、)をクリックします。
Windows 8.1の場合は、デスクトップ画面に切り替えてください。

- 2 セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択し、[接続]をクリックします。



- 3 セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[次へ] (または[OK]、[接続])をクリックします。



以上で完了です。

Macの場合

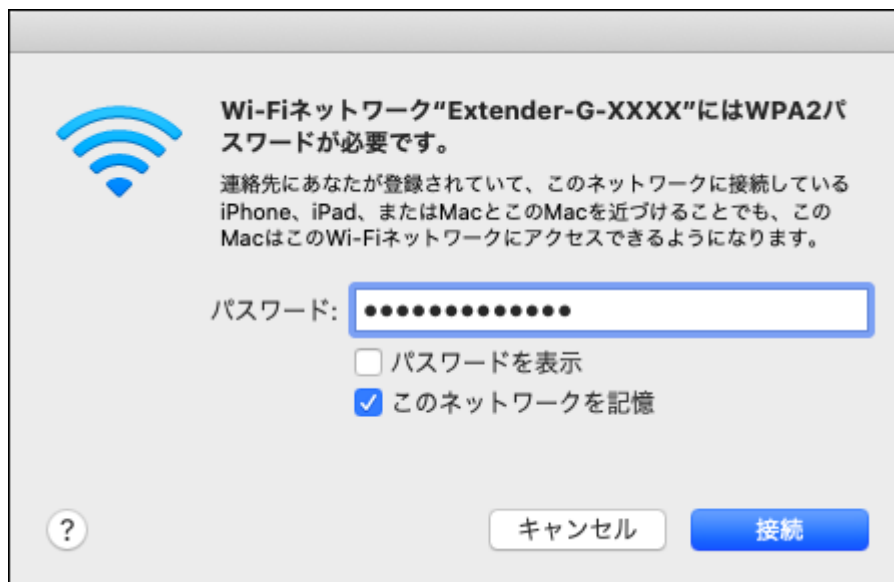


1 画面上部のバーから、アイコン()を選択します。

2 セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。



3 セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をクリックします。



以上で完了です。

iOSの場合

- 1 お使いの機器のWi-Fi設定画面を表示します。
- 2 セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。



- 3 セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をタップします。



以上で完了です。

Androidの場合

- 1 お使いの機器のWi-Fi設定画面を表示します。
- 2 セットアップカードに記載されている「中継機用SSID」をリストから選択します。



- 3 セットアップカードに記載されている「暗号化キー」を入力し、[接続]をタップします。



以上で完了です。

新しく購入した機器を追加する

本製品とWi-Fiルーターで構成するネットワークに、新しく購入した機器を追加する場合、以下のどちらかの方法で行ってください。

- Wi-Fiルーターを使って新しく購入した機器をネットワークに接続する
- 本製品を使って新しく購入した機器をネットワークに接続する

ここでは、本製品を使ってネットワークに接続する方法を説明します。Wi-Fiルーターを使って接続する方法は、Wi-Fiルーターの取扱説明書を参照してください。


WPSボタンで接続する

新しく購入した機器にWPS機能が搭載されている場合、本製品のWPSボタンでかんたんに接続設定ができます。

1 接続する機器のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各機器の取扱説明書を確認してください。

2 本製品のWPSボタン()を、WPSランプ()が2回ずつ点滅するまで(約2秒間)長押しします。

メモ: POWERランプとWPSランプがどちらも消灯している場合は、ランプを消灯させる機能が有効になっています。本製品をコンセントから取り外し、もう一度差し込んだ後にPOWERランプが点灯したことを確認し、手順1を実施してください。

3 本製品のWPSボタンを押してから約2分後、本製品のWPSランプ()が点灯していることを確認したら、機器がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

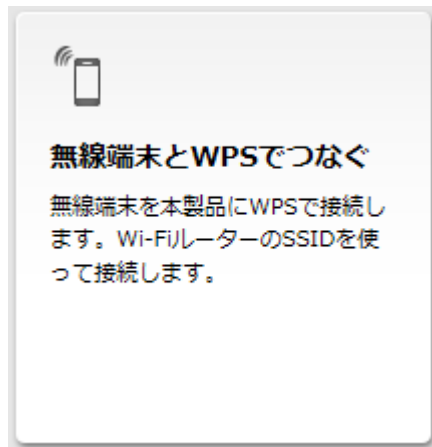
設定画面からWPSで接続する

本製品のWPSボタンを使用しない場合は、以下の手順で設定してください。以下の手順では、新しく購入した機器とは別に、設定用パソコンが必要です。

1 本製品の設定画面を表示します。

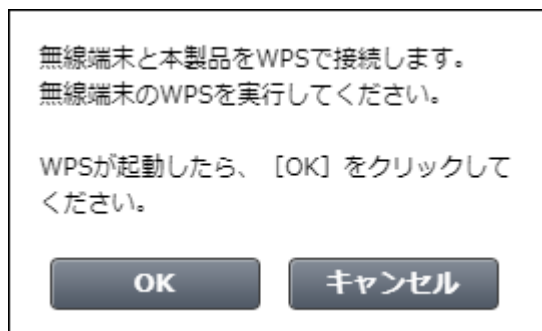
設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「無線端末とWPSでつなぐ」をクリックします。



3 接続する機器のWPSを開始します。WPSを行う方法は、各機器の取扱説明書を確認してください。

4 [OK]をクリックします。



5 [OK]をクリックしてから約2分後、本製品の設定画面に「無線接続が完了しました」と表示されたら、機器がインターネットに接続できることを確認してください。

以上で設定は完了です。

手動で本製品に接続するには

新しく購入した機器を手動で本製品に接続するには、本製品の中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDに接続する方法は、[「中継機用SSIDの使用\(EasyMeshでの接続時を除く\)」\(P.23\)](#)を参照してください。

ほかの機器から検索できなくする(ANY接続拒否設定)

ANY接続拒否設定をすると、本製品のSSIDが隠蔽されて、ほかの機器から本製品を検索できなくなるため、外部からの不正アクセスを受けにくくなります。本製品を接続している、Wi-Fiルーターも同様に、ANY接続拒否設定を行うことをおすすめします。

メモ:


- 以下の設定を行って本製品のSSIDを隠蔽しても、暗号化設定がされていないと外部からの不正アクセスを受けることがあります。
- ANY接続を無効にすると、それ以降、新しい機器を接続するときにWPSを使った接続はできなくなります。WPSを使用する場合、ANY接続を有効にしてください。

1 本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「2.4 GHz」または「5 GHz」をクリックします。

3 ANY接続の「許可する」をクリックし、チェックを外して「設定」をクリックします。

WPA-PSK (事前共有キー)	<input type="text" value="xxxxxxxxxxxx"/>
Key更新間隔	<input type="text" value="60"/> 分
ANY接続	<input type="checkbox"/> 許可する 

以上で設定は完了です。

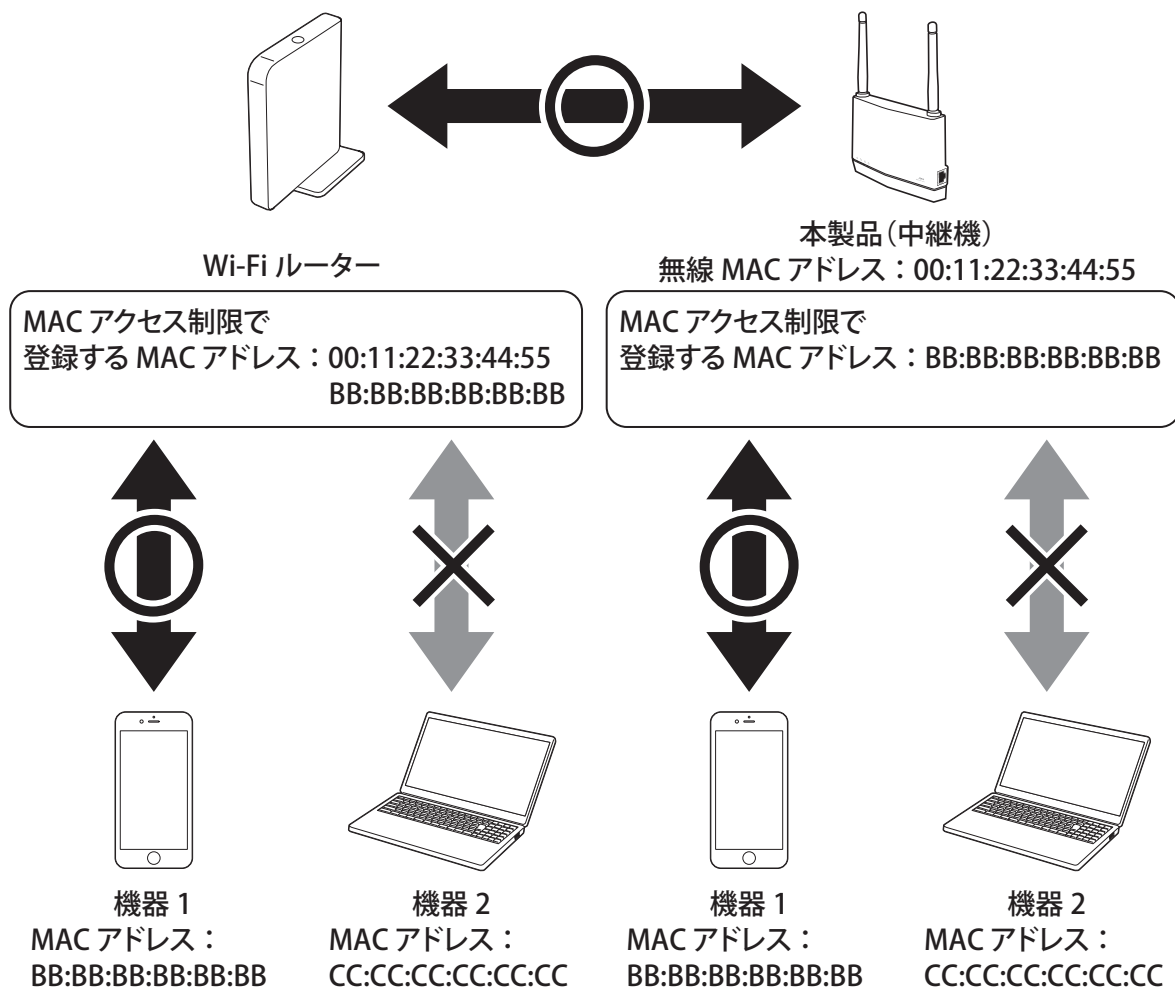
アクセス可能な機器を制限する(MACアクセス制限)

本製品に接続する機器のMACアドレスをあらかじめ登録しておき、その機器のみアクセスを許可できます。ここでは例として、以下の2つの設定を紹介します。

- Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を、本製品にも適用する場合
- Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する場合

Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する

Wi-Fiルーターに設定しているMACアクセス制限設定を、本製品にも同じように適用する設定です。



ステップ1 本製品の中継機能のMACアドレスをWi-Fiルーターに登録する

1 本製品の設定画面を表示します。

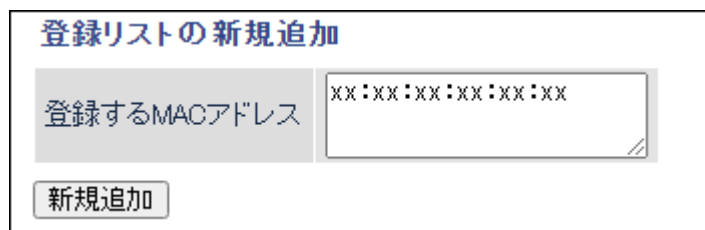
設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「ステータス」-「システム」を開き、「中継機能」に記載されているMACアドレスを控えます。

3 手順2で控えた中継機能のMACアドレスを、Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定に登録します。

ステップ2 Wi-Fiルーターに登録している機器のMACアドレスを本製品に登録する

- 1 Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定で登録している、Wi-Fi接続を許可する機器のMACアドレスを控えます。
- 2 本製品の設定画面の「詳細設定」-「無線設定」-「MACアクセス制限」をクリックします。
- 3 「登録リストの編集」をクリックします。
- 4 手順1で控えたMACアドレスを「登録するMACアドレス」欄に入力し、[新規追加]をクリックして登録します。MACアドレスを入力するときは、2桁ずつコロン(:)で区切って入力します。登録できるMACアドレスは64個までです。



- 5 登録が終わったら「編集を終了して前の画面へ戻る」をクリックし、「無線パソコンの接続(2.4 GHz)および(5 GHz)」の「制限する」にチェックを入れて、[設定]をクリックします。

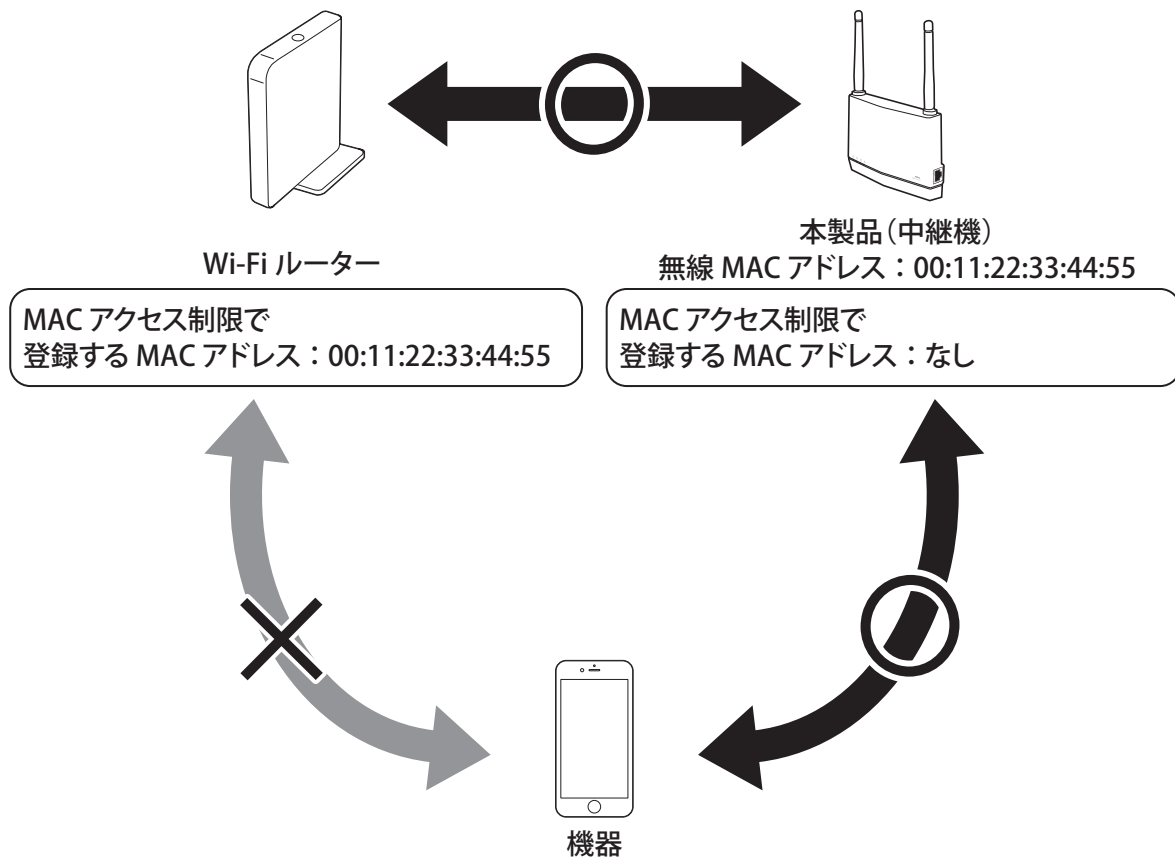


以上で設定は完了です。

Wi-Fiルーターと各機器間の直接接続を禁止し、本製品を経由する通信のみを許可する

Wi-Fiルーターに機器を直接接続することを禁止し、本製品を経由する場合のみ接続を許可する設定です。

メモ: メッシュネットワークを構築している場合は使用できません。



1 設定用パソコンで本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「ステータス」-「システム」を開き、「中继機能」に記載されているMACアドレスを控えます。

3 手順2で控えた中继機能のMACアドレスを、Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定に登録します。

4 本製品をWi-Fiルーターに接続します。

以上で設定は完了です。

機器同士の通信を禁止する(プライバシーモード)

プライバシーモード機能を使用すると、本製品にWi-Fi接続している機器同士のアクセス(共有フォルダーなどへのアクセス)を禁止できます。

本製品が接続しているWi-Fiルーターに直接接続している機器に対しては、アクセスを禁止できません。このためプライバシーモードを有効にしても、Wi-Fiルーターから引き継いだSSIDに接続している機器は、Wi-Fiルーターに近づくと他の機器と通信できる状態になることがあります。確実にプライバシーモードを有効にしたい機器は、中継機用SSIDへの接続をおすすめします。

1 本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「無線設定」-「2.4 GHz」または「5 GHz」をクリックします。

メモ: 本設定はWi-Fiの周波数帯(2.4 GHzまたは5 GHz)ごとに設定できます。

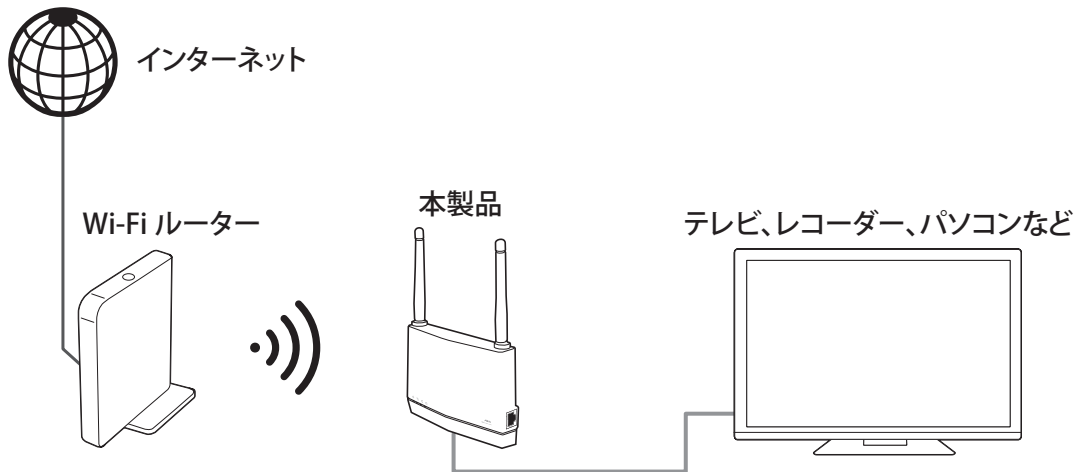
3 「プライバシーモード」欄の「使用する」にチェックを入れ、「設定」をクリックします。

[拡張設定]	
BSS BasicRateSet	1,2,5,5,11 Mbps ▼
Multicast Rate	1 Mbps ▼
802.11n プロテクション	<input type="checkbox"/> 使用する
DTIM Period	1
プライバシーモード	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
送信出力	100 % ▼

以上で設定は完了です。

本製品をイーサネットコンバーター(子機)として使う

本製品のLAN端子にテレビやレコーダー、パソコンなどをLANケーブルで接続し、Wi-Fiで通信できるようにします。



1 本製品とWi-Fiルーターが通信できる状態にします。

[「Wi-Fi EasyMesh™でメッシュネットワークを構築して接続する」\(P.15\)](#)

[「メッシュネットワークを構築しないで接続する」\(P.22\)](#)

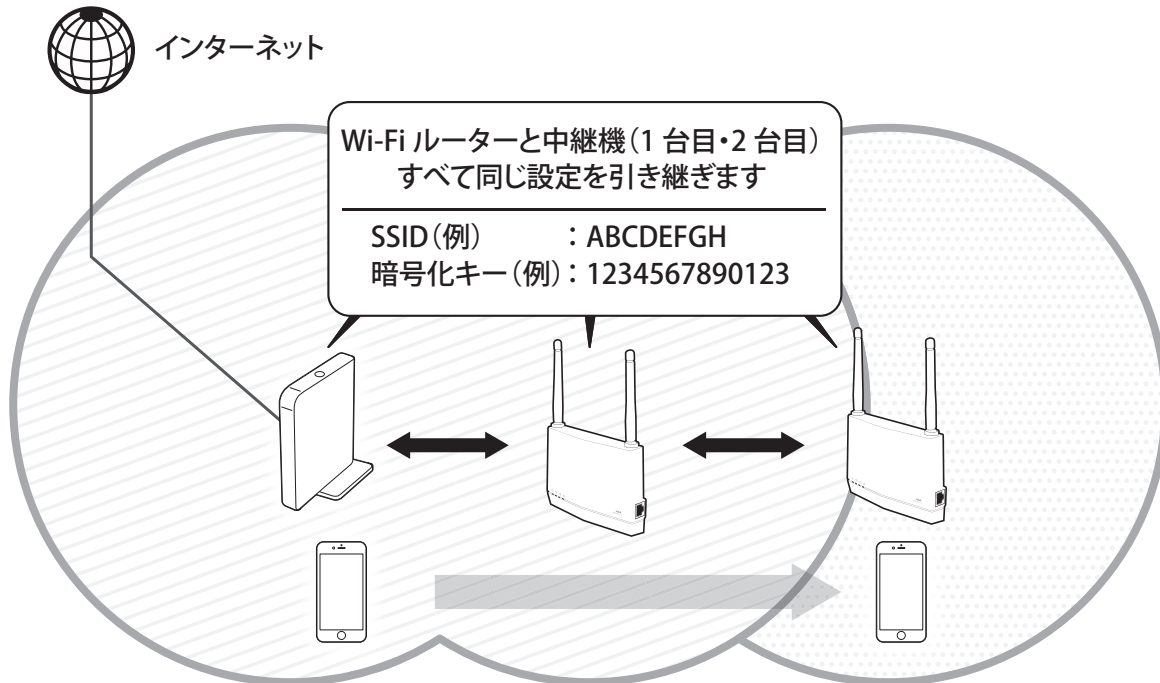
2 本製品のLAN端子に、テレビやレコーダー、パソコンなどを接続します。

以上で完了です。

本製品を2台使って、通信距離をさらに延ばす

すでに本製品1台をお使いの場合、本製品の電波が届く範囲内にもう1台の本製品を増設すると、通信距離をさらに延ばすことができます。ここでは、本製品を2台使って通信する設定方法を説明します。

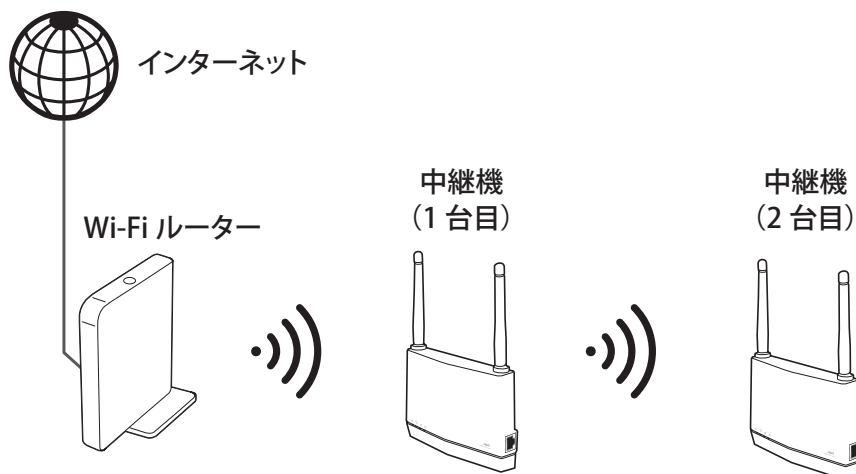
EasyMesh機能を使って本製品を追加する場合は、[「Wi-Fi EasyMesh™でメッシュネットワークを構築して接続する」\(P.15\)](#)を参照してください。



2台目を接続する

メモ:

- ここでは、1台目を接続済みであることを前提に説明しています(1台目を接続したいときは、付属の **2-B** セットアップガイド 中継機接続編 を参照してください)。
- 2台目をWPSボタンを使わずに接続したいときは、付属の **2-B** セットアップガイド 中継機接続編「WPSまたはAOSSボタンがない場合の手順」と同様の手順で2台目を1台目に接続してください。



- 1** 2台目を**1台目の近くのコンセント**に挿し込み、電源をONにします。電源をONにしてから約1分後、

POWERランプ()が緑色に、親機接続ランプ()が橙色に点灯していることを確認します。

メモ: ランプが上記の状態でない場合は、[「設定を出荷時の状態に戻したい」\(P.79\)](#)を実施してお待ちください。

- 2** 2台目のWPSボタン()を、WPSランプ()が2回ずつ点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回ずつ点滅したら、ボタンから手を放します。


メモ: POWERランプとWPSランプがどちらも消灯している場合は、ランプを消灯させる機能が有効になっています。本製品をコンセントから取り外し、もう一度差し込んだ後にPOWERランプが点灯したことを確認し、手順1を実施してください。

- 3** 1台目のWPSボタン()を、WPSランプ()が2回ずつ点滅するまで(約2秒間)長押しします。2回ずつ点滅したら、ボタンから手を放します。

メモ: POWERランプとWPSランプがどちらも消灯している場合は、ランプを消灯させる機能が有効になっています。本製品をコンセントから取り外し、もう一度差し込んだ後にPOWERランプが点灯したことを確認し、手順1を実施してください。

- 4** 本製品同士の接続設定が完了するまで、約2分待ちます。



メモ: この間に本製品は自動的に再起動しますので、手を触れずにそのままお待ちください。

- 5** 1台目のWPSボタンを押してから約2分後、1台目と2台目のWPSランプ()が緑色に点灯していることを確認してください。

メモ:

- ・ WPSランプが速く点滅している場合は、本製品同士を近づけ、手順2以降をもう一度行ってください。
- ・ WPSランプは5分間点灯した後、自動的に消灯します。

- 6** いったん2台目をコンセントから取り外し、設置したい場所のコンセントに挿し込み、電源をONにします。

- 7** 電源をONにしてから約1分後、2台目の親機接続ランプ()が点灯または点滅していることを確認し、1台目の子機接続ランプ()が点灯していることを確認します。

以上で2台目の接続は完了です。

お使いの機器が2台目の本製品の電波が届く場所でインターネットに接続できることが確認できたら、すべての設定は完了です。

本製品のIPアドレスを変更する

エアステーション設定ツールを使用すると、本製品のIPアドレスをかんたんに変更できます。ここでは、エアステーション設定ツールを使ったIPアドレスの変更方法について説明します。

Windowsをお使いの場合

メモ:

- エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定] - [LAN] - [LAN]からも変更できます。

1 エアステーション設定ツール を起動します。

インストール時にデスクトップ上に作られた「エアステーション設定ツール」のショートカットをダブルクリックします。

2 [次へ]をクリックします。



メモ: パソコンに複数のネットワークアダプターが搭載されている場合、「2つ以上のネットワーク接続がつながっています」というメッセージが表示されます。その場合は、使用していないネットワークアダプターを取り外すか無効にしてから[再実行]をクリックしてください。

3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[次へ]をクリックします。

← Easestation設定ツール

Easestation無線親機を選択

操作したい無線親機を選択してください。リストにない場合は、[再検索] をクリックしてください。

エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス
APXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210

[無線親機が見つからない場合](#) 再検索(R)

選択したら [次へ] をクリックします。

次へ(N) キャンセル

メモ:

- ・ ネットワーク名 (SSID) が「Extender」で始まるものを選択してください。
- ・ 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MACアドレス (本体のラベルで確認できます) で判別してください。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。

← Easestation設定ツール

操作の選択

次の無線親機が選択されました。おこないたい操作を選択してください。

エアステーション名	ネットワーク名 (SSID)	MAC アドレス	IP アドレス
APXXXXXXXXXX	Extender-G-XXXX	XX:XX:XX:XX:XX:XX	192.168.11.210

設定画面を開く(W)
(通常はこちら)

この無線親機の IP アドレスを設定する(I)
(上級者・管理者向け)

5 新しく設定するIPアドレスを入力して[次へ]をクリックします。

← エアステーション設定ツール

無線親機の IP アドレス設定

無線親機の新しい IP アドレスを入力してください。

☐ DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得する(かんたん)(O)

※ 無線親機の ROUTER ランプが点灯している場合(ルーター機能有効時)は、この設定にはできません。

☒ 次の IP アドレスを使う(上級者・管理者向け)(S)

IP アドレス(U) [設定方法](#)

サブネットマスク(U)

※ 無線親機の ROUTER スイッチが「AUTO」に設定されていて、かつ、ROUTER ランプが点灯している場合(ルーター機能有効時)は、この設定にはできません。

※ 参考情報 - このパソコンの IP アドレス:
192.168.11.96 / 255.255.255.0 : イーサネット (Intel(R) 82579V Gigabit Network Conn

[次へ] をクリックすると、設定内容が無線親機に反映されます。

次へ(N)

メモ: 本製品とパソコンのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのパソコンと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[はい]をクリックしてください。

6 本製品に設定されている管理パスワード(出荷時状態では「password」)を入力し、[次へ]をクリックします。

← エアステーション設定ツール

設定中

この無線親機には、管理パスワードが設定されています。

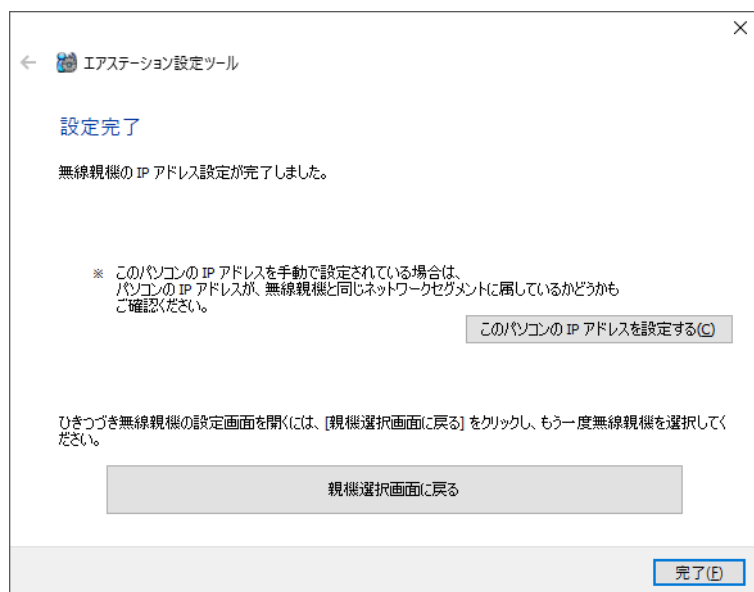
無線親機の管理パスワードを入力してください。

管理パスワード(P) ☒ 入力文字列を表示(U)

出荷時の設定は、無し(空欄)または「password」です。

次へ(N)

7 [完了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

Macをお使いの場合

メモ:

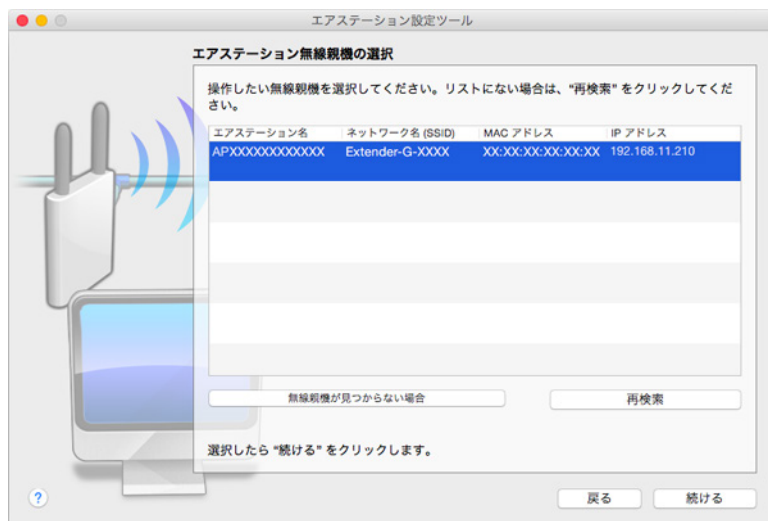
- ・ エアステーション設定ツールは、当社ホームページ(86886.jp/airset/)でダウンロードできます。
- ・ 本製品のIPアドレスは、設定画面の[詳細設定] – [LAN] – [LAN]からも変更できます。

1 エアステーション設定ツール  を実行します。

2 [続ける]をクリックします。



3 以下の画面が表示されたら、本製品を選択して、[続ける]をクリックします。



メモ:

- ・ ネットワーク名 (SSID) が「Extender」で始まるものを選択してください。
- ・ 「Extender」で始まるものが表示されない場合や複数表示される場合は、MAC アドレス (本体のラベルで確認できます) で判別してください。

4 [この無線親機のIPアドレスを設定する]をクリックします。



5 新しく設定するIPアドレスを入力して[続ける]をクリックします。



メモ: 本製品とMacのIPセグメントが異なる場合は、「入力したアドレスは、ネットワークセグメントがこのMacと異なります」という画面が表示されます。設定を続ける場合は、[無視して続ける]をクリックしてください。

- 6** 本製品に設定されているパスワード（出荷時状態ではセットアップカードに記載されている「本機ログイン用パスワード」）を入力し、[続ける]をクリックします。



- 7** [終了]をクリックします。



以上で設定は完了です。

本製品の設定を保存・復元する

本製品の設定は、設定ファイルとして保存できます。設定ファイルを使用することで、本製品を再設定することなく、かんたんに以前の状態に復元できます。
たとえば、本製品が故障などで使用できなくなり同じモデルに交換した場合、設定ファイルがあれば交換したものにそれまで使っていた設定を復元できます。

メモ: 設定ファイル作成後に本製品の設定を変更しても、設定ファイルは自動的に更新されません。

設定を保存する

1 本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」－「管理」－「設定管理/再起動」をクリックします。

3 「設定ファイルを保存する」を選択します。

設定管理	
操作	<input checked="" type="radio"/> 設定ファイルを保存する <input type="radio"/> 設定ファイルを復元する <input type="radio"/> 設定を初期化する
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを使用する <input type="text"/> <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
<input type="button" value="設定操作実行"/>	

メモ:

- ・ 設定ファイルをパスワードで暗号化したい場合は、「パスワードを使用する」にチェックマークを付けて、設定したいパスワードを入力してください。
- ・ パスワードには、8文字までの半角英数字およびアンダーバー(_)が使用できます。

4 「設定操作実行」をクリックします。

設定を復元する

1 本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P.8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「設定管理/再起動」をクリックします。

3 「設定ファイルを復元する」を選択します。

4 [参照]をクリックし、設定ファイルを指定します。

設定管理	
操作	<input type="radio"/> 設定ファイルを保存する <input checked="" type="radio"/> 設定ファイルを復元する <input type="radio"/> 設定を初期化する
設定ファイル	<input type="button" value="ファイルの選択"/> xxxxxxxx
パスワード	<input type="checkbox"/> パスワードを使用する <input type="text"/> <input type="checkbox"/> パスワードを表示する
<input type="button" value="設定操作実行"/>	

メモ: 設定ファイルをパスワードで暗号化している場合は、「パスワードを使用する」にチェックマークを付けて、設定ファイルのパスワードを入力してください。

5 [設定操作実行]をクリックします。

本製品のファームウェアを更新する

本製品のファームウェアの更新設定は、2つの方法があります。

自動的に更新する場合

新しいファームウェアが公開された際に自動的に更新する場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 本製品の設定画面を表示します。


設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェア自動更新機能で「常に最新版に更新する」と更新時刻を設定し、「設定」をクリックします。

[拡張設定]	
ファームウェア自動更新機能	常に最新版に更新する ▼
現在時刻	2021年 2月 3日 (水曜日) 18:28 現在の状態を表示する
更新時刻	毎日 4:00 - 4:59 ▼
設定	

メモ:

- 本製品の時刻設定が正しくない場合(画面に  が表示されている場合)は、「管理」-「システム設定」の画面で「NTP機能」の「使用する」にチェックを入れてください。
- ファームウェア更新中は、再起動などにより、本製品に接続している機器が一時的に切断されます。そのため、更新時刻は、本製品を使用していない時間帯の設定をおすすめします。
- 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが緑色と橙色に交互に点滅中)は、本製品をコンセントから抜き、電源をOFFにしないでください。

以上で設定は完了です。

設定後に新しいファームウェアがリリースされた場合、上記で設定した時間帯に更新が行われます。

手動で更新する場合

本製品をお使いの方が、お好みのタイミングでファームウェアを更新したい場合は、以下の手順で設定を行ってください。

1 本製品の設定画面を表示します。

設定画面の表示方法は、[「本製品の設定を変更するには」\(P8\)](#)を参照してください。

2 「詳細設定」-「管理」-「ファームウェア更新」をクリックします。

3 ファームウェアを更新します。

ファームウェアファイルがある場合は、[参照]をクリックしてファームウェアファイルを選択し、[更新実行]をクリックします。

ファームウェアファイルがない場合は、「オンラインバージョンアップ」を選択し、[更新実行]をクリックして画面の指示に従ってください。

ファームウェアバージョン	WEX-1800AX4EA Ver.X.XX
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	<input type="button" value="参照..."/> XXXXXXXXXXXX
<input type="button" value="更新実行"/>	

メモ: 故障の原因となるため、ファームウェアの更新中(前面のPOWERランプが緑色と橙色に交互に点滅中)は、本製品をコンセントから抜き、電源をOFFにしないでください。

以上で設定は完了です。

ランプを消灯する

本製品のランプを消灯したい場合は、以下の手順を行ってください。

1 本製品をコンセントに差し込み、電源をONにします。

2 本製品のWPSボタンを約1秒押します。

3 ランプが消灯していることを確認します。

メモ: ランプを点灯させる場合は、もう一度WPSボタンを約1秒押します。

以上で設定は完了です。

第2章 設定画面の詳細情報

本章では、本製品の設定画面について説明します。

かんたん設定と詳細設定について

本製品の設定画面は、各種設定や機器診断を行う画面です。本製品の設定を変更するときや状態を確認したいときに使用します。

設定画面は「かんたん設定」と「詳細設定」に分かれており、用途によって使い分けることができます。少ない操作で設定を済ませたい場合は「かんたん設定」を、より高度な設定を行いたい場合は「詳細設定」を使用してください。

かんたん設定の画面(一例)



メモ: EasyMeshで接続している場合、「中継機設置ガイド」「Wi-Fiルーターと接続」「無線LAN」はグレー色の表示になり選択できません。

詳細設定画面(一例)









LAN

LAN

無線設定

管理

ステータス

LAN側IPアドレス

☒ DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
(自動取得できない場合は、192.168.11.210)

☐ 手動設定

IPアドレス

192.168.11.210

サブネットマスク

255.255.255.0

[拡張設定]

デフォルトゲートウェイ

DNS(ネーム)サーバーアドレス

プライマリー:

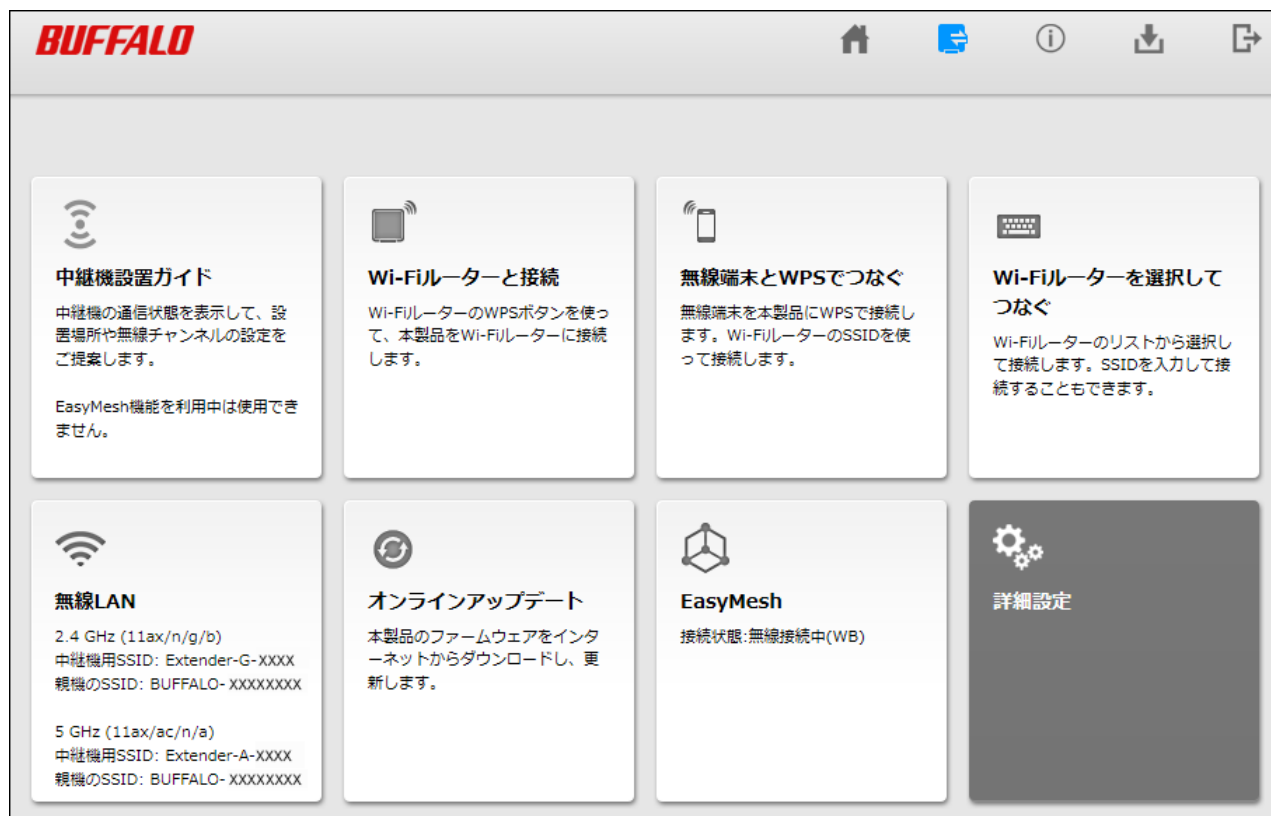
セカンダリー:

Help


かんたん設定画面






トップ画面

本製品の設定画面にログインした際、最初に表示される画面です。



メモ: EasyMeshで接続している場合、「中継機設置ガイド」「Wi-Fiルーターと接続」「無線LAN」はグレー色の表示になり選択できません。

項目	内容
中継機設置ガイド	クリックすると、本製品－Wi-Fiルーター間、および本製品－お使いの機器間の通信状態を確認できます。
Wi-Fiルーターと接続	クリックして[OK]をクリックすると、Wi-FiルーターとのWPS接続待ち受け状態になります。
無線端末とWPSでつなぐ	本製品がWi-Fiルーターに接続しているときのみ有効になります。クリックして[OK]をクリックすると、機器とのWPS接続待ち受け状態になります。
Wi-Fiルーターを選択してつなぐ	クリックすると、Wi-Fiルーターと手動接続するための画面が表示されます。
無線LAN	本製品の中継機用SSID、接続しているWi-FiルーターのSSIDを表示します。クリックすると、中継機用SSIDの設定画面が表示されます。
オンラインアップデート	本製品がWi-Fiルーターに接続しているときのみ有効になります。クリックすると、自動的にインターネットから更新データを検索します。
EasyMesh	クリックすると、EasyMeshの設定画面が表示されます。
詳細設定	クリックすると、詳細設定画面が表示されます。
	クリックすると、トップ画面が表示されます。

項目	内容
	Wi-Fiルーターとの接続状況を表示します。Wi-Fiルーターと接続していないとき( が表示されているとき)にクリックすると、「無線親機を選択してつなぐ」の画面が表示されます。
	ファームウェアの更新がある場合などに点滅してお知らせします。クリックすると、本製品が接続しているWi-FiルーターのSSIDを表示します。
	インターネットに接続しているときにクリックすると、取扱説明書やソフトウェアなどのダウンロードページが表示されます。
	設定画面からログアウトします。

中継機設置ガイド







パネルをクリックすると、本製品－Wi-Fiルーター間、および本製品－お使いの機器間の通信状態を確認できます。本製品の設置位置を微調整したい場合に使用します。

メモ: EasyMeshでメッシュネットワークを構築している場合、「中継機設置ガイド」を使用できません。


中継機設置ガイド

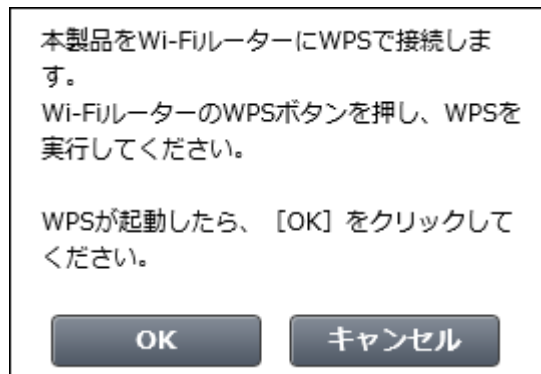
子機を中継機に無線接続してください

Wi-Fiルーター		WEX-1800AX4EA		子機
				
	5GHz (36ch) 1201Mbps / -31dBm	今回	無線接続されていません	
				
		前回 (データなし)		

項目	内容
通信状態に関するメッセージ	<p>通信状態によって、以下のメッセージが表示されます。</p> <p>良好です 本製品は最適な位置に設置されています。そのままご使用ください。</p> <p>中継機を親機に近づけてください 本製品－Wi-Fiルーター間の距離が近くなるように設置してください。</p> <p>中継機を子機に近づけてください 本製品－お使いの機器間の距離が近くなるように設置してください。</p> <p>親機の無線チャンネルを変更してください Wi-Fiルーターの取扱説明書を参照して、無線チャンネルを変更してください。</p> <p>中継機の無線チャンネルを変更してください [無線LAN](P.55)の画面から本製品の無線チャンネルを変更してください。</p> <p>中継機を親機に接続してください 付属の 2-B セットアップガイド 中継機接続編 に従って、本製品をWi-Fiルーターに接続してください。</p> <p>子機を中継機に無線接続してください お使いの機器がWi-Fiルーターに接続されています。お使いの機器のWi-Fi機能をOFFにして、もう一度ONにしてください。それでもこのメッセージが表示される場合は、本製品に付属の取扱説明書を参照してお使いの機器を中継機用SSIDに接続してください。</p>
 (強い)  (普通)  (弱い)	<p>本製品－Wi-Fiルーター間の電波状態を表示します。</p> <p>アイコンの下には、接続に使用している周波数帯と無線チャンネル、リンク速度、RSSI値が表示されます。</p>
 (強い)  (普通)  (弱い)	<p>本製品－お使いの機器間の電波状態を表示します。</p> <p>アイコンの下には、接続に使用している周波数帯と無線チャンネル、リンク速度、RSSI値が表示されます。</p>
戻る	クリックすると、トップ画面に戻ります。
保存する	クリックすると、現在の通信状態を保存して「前回」欄に表示します。データは、[保存する]をクリックするごとに上書きされます。

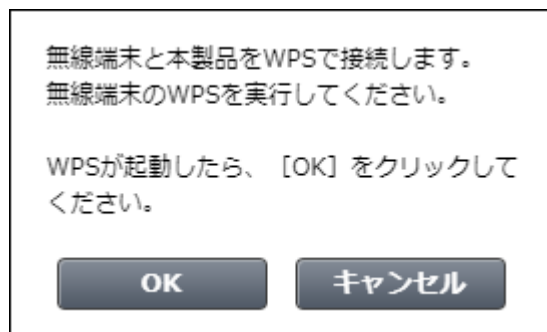
Wi-Fiルーターと接続

パネルをクリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品がWi-FiルーターとのWPS接続待ち受け状態になります。




無線端末とWPSでつなぐ

本製品がWi-Fiルーターと接続しているときのみ、パネルをクリックできます。クリックした際に以下の画面が表示されます。[OK]をクリックすると、本製品が機器とのWPS接続待ち受け状態になります。




Wi-Fiルーターを選択してつなぐ

パネルまたは画面上部の  をクリックすると表示されます。本製品に接続するWi-FiルーターのSSIDを設定します。

Wi-Fiルーターをリストから選択する場合は「接続先を選択する」を選択すると自動的にWi-FiルーターのSSIDが検索されるので、接続するSSIDを選択して暗号化キーを入力し、[設定]をクリックしてください。Wi-FiルーターのSSIDを手動で入力する場合は、「接続先を手動で入力する」を選択し、SSIDや暗号化キーなどの情報を入力して[設定]をクリックしてください。



項目	内容
	詳細設定画面を表示します。
接続先を選択する	選択すると、Wi-FiルーターのSSIDを検索して表示します。
再検索	Wi-FiルーターのSSIDをもう一度検索します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。
接続先を手動で入力する	選択すると、Wi-FiルーターのSSIDを手動で入力できるようになります。
SSID	接続するWi-FiルーターのSSIDを入力します。
暗号化モード	接続するSSIDに設定されている暗号化方式を選択します。
暗号化キー	接続するSSIDに設定されている暗号化キーを入力します。

無線LAN

中継機用SSIDの設定を行う画面です。


無線LAN設定

2.4 GHz (11ax/n/g/b)
☒ 有効


SSID 1
☒ 有効

SSID

暗号化モード
WPA2-Personal AES

暗号化キー

SSID 2
☒ 有効

SSID

暗号化モード
WPA3-Personal AES

暗号化キー

チャンネル
自動

帯域
286 Mbps (20 MHz)

5 GHz (11ax/ac/n/a)
☒ 有効


SSID 1
☒ 有効

SSID

暗号化モード
WPA2-Personal AES

暗号化キー

SSID 2
☒ 有効

SSID

暗号化モード
WPA3-Personal AES


暗号化キー

チャンネル
36

帯域
1200 Mbps (80 MHz)

戻る

設定

項目	内容
	詳細設定画面を表示します。
2.4 GHz(11ax/n/g/b) 5 GHz(11ax/ac/n/a)	Wi-Fiの有効/無効を設定します。
SSID	本製品が独自に発信するSSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
暗号化モード	中継機用SSIDの暗号化モードを選択します。
暗号化キー	機器との認証で使用する暗号化キーを入力します。 文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。
チャンネル	SSIDで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると、電波混雑防止機能により自動的に最適なチャンネルが設定されます。2.4GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかの設定をおすすめします。
帯域	SSIDで使用する帯域幅を設定します。帯域幅を大きくすると、通信速度の向上が見込めますが、周囲の電波状況が悪い場合は、効果が得られないことがあります。

オンラインアップデート

パネルをクリックすると、自動的にインターネットから更新データを検索します。更新データがある場合は、画面の指示に従って更新してください。



EasyMesh

EasyMesh/中継機能(WB)の設定を行う画面です。

接続情報	
接続状態	無線接続中(EasyMesh)
2.4 GHz (11ax/n/g/b)	
SSID	Buffalo-XX-XXXX
セキュリティ	WPA2/WPA3 Personal AES
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
5 GHz (11ax/ac/n/a)	
SSID	Buffalo-XX-XXXX
セキュリティ	WPA2/WPA3 Personal AES
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
EasyMesh対応Wi-Fiルーターと接続する場合は、「Wi-FiルーターとのWPSを開始する」を実行してください。	
Wi-Fiルーターと無線接続	
EasyMeshまたは 中継機能(WB)で接続	<input type="button" value="Wi-FiルーターとのWPSを開始する"/>
中継機能(WB)で接続	<input type="button" value="手動設定をする"/>
端末と無線接続	
WPS	<input type="button" value="端末とのWPSを開始する"/>
拡張設定	
EasyMesh	
高速ローミング(11r)	<input type="checkbox"/> 使用する
中継機能(WB)	
2.4GHz/5GHz 選択	5GHz 優先 ▼
本機のWi-Fiルーター機能を停止する場合は 2.4GHz(11ax/n/g/b) 及び 5GHz(11ax/ac/n/a) から無線機能を停止してください。	
<input type="button" value="設定"/>	

[「EasyMesh/中継機能\(WB\)」\(P.67\)](#)を参照してください。

詳細設定画面

LAN

LAN側の設定を行う画面です。

LAN > LAN

LAN側IPアドレス	<input checked="" type="radio"/> DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得 (自動取得できない場合は、192.168.11.210) <input type="radio"/> 手動設定
	IPアドレス <input type="text" value="192.168.11.210"/>
	サブネットマスク <input type="text" value="255.255.255.0"/>
[拡張設定]	
デフォルトゲートウェイ	<input type="text"/>
DNS(ネーム)サーバーアドレス	プライマリー: <input type="text"/> セカンダリー: <input type="text"/>

項目	内容
LAN側IPアドレス	Wi-FiルーターのDHCPサーバーからIPアドレスを取得する場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得」を選択します。手動で設定する場合は、IPアドレスとサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	デフォルトゲートウェイのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。
DNS(ネーム)サーバーアドレス	DNSサーバーのIPアドレスを設定します。通常は設定する必要はありません。

2.4 GHz(11ax/n/g/b)

2.4 GHz(11ax/n/g/b)のWi-Fiの設定を行う画面です。

無線設定 > 2.4 GHz(11ax/n/g/b)

無線機能

☒ 使用する

無線チャンネル

自動 (現在のチャンネル: 6)

倍速モード

帯域: 286 Mbps (20 MHz) (Current: 20MHz)
拡張チャンネル: 4

SSID1

SSID1

☒ 使用する

SSID

☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-G-xxxx)
☐ 値を入力:

無線の認証

WPA2 Personal

無線の暗号化

AES

WPA-PSK
(事前共有キー)

XXXXXXXXXXXX

Key更新間隔

0 分

ANY接続

☒ 許可する

SSID2

SSID2

☒ 使用する

SSID

☒ エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-G-xxxx-WPA3)
☐ 値を入力:

無線の認証

WPA3 Personal

無線の暗号化

AES

WPA-PSK
(事前共有キー)

XXXXXXXXXXXX

Key更新間隔

0 分

ANY接続

☒ 許可する

SSID3

SSID3

☒ 使用する

SSID

☐ エアステーションのMACアドレスを設定 (!Setup-G-xxxx)
☒ 使用する | Buffalo-G-XXXX

無線の認証

WPA2 Personal

無線の暗号化

AES

WPA-PSK
(事前共有キー)

XXXXXXXXXX

Key更新間隔

0 分

ANY接続

☒ 許可する

拡張設定

BSS BasicRateSet

1,2,5,11 Mbps

Multicast Rate

1 Mbps

802.11n プロテクション

☐ 使用する

DTIM Period

1

プライバシーモード

☐ 使用する

送信出力

100 %

設定

メモ: EasyMeshで接続している場合、「送信出力」以外の設定項目は、グレー色の表示になり変更できません。

項目	内容
無線機能	Wi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	Wi-Fiで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。手動でチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかの設定をおすすめします。
倍速モード	Wi-Fi通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を「286Mbps(20MHz)」または「573Mbps(40MHz)」に設定します。 メモ: 拡張チャンネルは、設定した無線チャンネルに応じて自動的に設定されます。
SSID 1、SSID 2	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用する」にチェックを入れると、Wi-Fiルーターに接続している場合も本製品に確実に接続する際などに利用できます。
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、SSID 1の場合「Extender-G-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」、SSID 2の場合「Extender-G-XXXX-WPA3(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
無線の認証	SSID 1、SSID 2の認証方式を以下から選択します。 WPA3 Personal 機器との接続の際にWPA3-Personalに準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2/WPA3 Personal 機器との接続の際にWPA2 PersonalおよびWPA3 Personalの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA/WPA2 Personal 機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-Personalの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-Personal 機器との接続の際にWPA2-Personalに準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 認証を行わない 機器とのWi-Fi接続の際に認証を行いません。 メモ: お使いの機器やOSによっては、WPA3で接続できないことがあります。その場合は、WPA2で接続してください。

項目	内容
無線の暗号化	<p>Wi-Fi通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 Wi-Fiの認証で「WPA/WPA2 Personal」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>AES 暗号化の方式にAESを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 Wi-Fiの認証で「WPA2 Personal」、「WPA3 Personal」、「WPA2/WPA3 Personal」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>TKIP 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して機器とWi-Fi通信します。 Wi-Fiの認証で「WPA2-Personal」を選択した場合に使用できます。</p> <p>WEP WEP暗号化を使用します。暗号化キーを使用して機器と通信します。 Wi-Fiの認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 Wi-Fiの認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>Wi-Fiの暗号化に「WEP」を選択すると表示されます。 Wi-Fiを暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0～1440分の範囲で設定します。
ANY接続	チェックを外すと、機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID 3	<p>本製品がWi-Fiルーターに接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-G-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されています。 Wi-Fiルーターに接続した後は、Wi-FiルーターのSSIDが設定されます。Wi-FiルーターのSSIDが設定されると、SSIDの設定は変更できなくなります。</p>
BSS BasicRateSet	本製品と機器との制御通信フレームの通信速度を設定します。
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
802.11nプロテクション	従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。
DTIM Period	機器に通知するビーコン応答間隔(1～255)の設定をします。機器のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
プライバシーモード	チェックを付けると、本製品に接続している機器同士の通信を禁止します。
送信出力	本製品がWi-Fi送信を行うときの電波送信出力を設定します。

5 GHz(11ax/ac/n/a)

5 GHz(11ax/ac/n/a)のWi-Fiの設定を行う画面です。

無線設定 > 5 GHz(11ax/ac/n/a)

基本設定

無線機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
無線チャンネル	<div>36 チャンネル</div> <small>(現在のチャンネル: 手動選択)</small> <small>※DFSありの場合、気象レーダー等を感じると自動的にチャンネルが変更されます</small>
倍速モード	<div>帯域: 1200 Mbps (80 MHz)</div> <small>(Current: 80 MHz)</small>

SSID1

SSID1	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-A-XXXX) <input type="radio"/> 値を入力:
無線の認証	WPA2 Personal
無線の暗号化	AES
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
Key更新間隔	0 分
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する

SSID2

SSID2	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input checked="" type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Extender-A-XXXX-WPA3) <input type="radio"/> 値を入力:
無線の認証	WPA3 Personal
無線の暗号化	AES
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
Key更新間隔	0 分
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する

SSID3

SSID3	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
SSID	<input type="radio"/> エアステーションのMACアドレスを設定 (Setup-A-XXXX) <input checked="" type="radio"/> 使用する: Buffalo-A-XXXX
無線の認証	WPA2 Personal
無線の暗号化	AES
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
Key更新間隔	0 分
ANY接続	<input checked="" type="checkbox"/> 許可する

拡張設定

BSS BasicRateSet	6,12,24 Mbps
Multicast Rate	6 Mbps
802.11n プロテクション	<input type="checkbox"/> 使用する
DTIM Period	1
プライバシーモード	<input type="checkbox"/> 使用する
送信出力	100 %

設定

メモ: EasyMeshで接続している場合、「送信出力」以外の設定項目は、グレー色の表示になり変更できません。

項目	内容
無線機能	Wi-Fi機能を使用するかどうかを設定します。
無線チャンネル	Wi-Fiで使用するチャンネル(周波数帯)を設定します。DFSに対応したチャンネルを選択した場合は、本製品が気象レーダーなどを感知すると、自動的にチャンネルが変更されます。 「自動」を選択すると電波混雑防止機能により、自動的に最適なチャンネルが設定されます。
倍速モード	Wi-Fi通信で使用する帯域を設定します。高速な通信を行う場合は、帯域を「1201Mbps (80MHz)」に設定してください。
SSID 1、SSID 2	本製品独自のSSID(中継機用SSID)を使用するかどうかを設定します。「使用する」にチェックを入れると、Wi-Fiルーターに接続している場合も本製品に確実に接続する際などに利用できます。
SSID	中継機用SSIDを設定します。 「エアステーションのMACアドレスを設定」を選択すると、SSID 1の場合「Extender-A-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」、SSID 2の場合「Extender-A-XXXX-WPA3(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されます。 「値を入力」を選択した場合は、中継機用SSIDを入力します(半角英数字記号で32文字まで)。
無線の認証	SSID 1、SSID 2の認証方式を以下から選択します。 WPA3 Personal 機器との接続の際にWPA3-Personalに準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2/WPA3 Personal 機器との接続の際にWPA2 PersonalおよびWPA3 Personalの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA/WPA2 Personal 機器との接続の際にWPA-PSKおよびWPA2-Personalの両方の認証を同時に行う設定です。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 WPA2-Personal 機器との接続の際にWPA2-Personalに準拠した認証を行います。事前共有キーを別途本製品に設定する必要があります。 認証を行わない 機器とのWi-Fi接続の際に認証を行いません。 メモ: お使いの機器やOSによっては、WPA3で接続できないことがあります。その場合は、WPA2で接続してください。

項目	内容
無線の暗号化	<p>Wi-Fi通信のデータ暗号化の種類を以下から選択します。</p> <p>TKIP/AES mixedmode TKIP、AESの認証・通信を同時に行うことができます。 Wi-Fiの認証で「WPA/WPA2 Personal」を選択した場合のみ使用可能です。</p> <p>AES 暗号化の方式にAES(強固な暗号化方式)を使用します。事前共有キーを使用して機器と通信します。 Wi-Fiの認証で「WPA2 Personal」、「WPA3 Personal」、「WPA2/WPA3 Personal」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>TKIP 暗号化の方式にTKIPを使用します。事前共有キーを使用して機器と通信します。 Wi-Fiの認証で「WPA2-Personal」を選択した場合に使用できます。</p> <p>WEP WEP暗号化を使用します。暗号化キーを使用して機器と通信します。 Wi-Fiの認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p> <p>暗号化なし 暗号化を行わずに通信します。通信内容が盗聴される恐れがありますので暗号化なしでのご使用は避けてください。 Wi-Fiの認証で「認証を行わない」を選択した場合のみ使用できます。</p>
WPA-PSK(事前共有キー)	<p>機器との認証で使用する事前共有キーを入力します。 事前共有キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を8～63文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の64桁で入力します。</p>
WEP暗号化キー設定	<p>Wi-Fiの暗号化に「WEP」を選択すると表示されます。 Wi-Fiを暗号化する暗号化キーを入力します。 WEP暗号化キーは、文字列入力の場合、半角英数字(大文字/小文字の区別あり)を5文字または13文字で入力します。16進数入力の場合、0～9およびa～f(大文字/小文字の区別なし)の10桁または26桁で入力します。</p>
Key更新間隔	通信用暗号化キーを更新する間隔を0～1440分の範囲で設定します。
ANY接続	チェックを外すと、機器からSSIDを検索できないようにし、本製品の存在を第三者に知られにくくします。
SSID 3	<p>本製品がWi-Fiルーターに接続する前は、初期設定用SSIDとして「!Setup-A-XXXX(XXXXは本製品のMACアドレスの下4桁)」が設定されています。 Wi-Fiルーターに接続した後は、Wi-FiルーターのSSIDが設定されます。Wi-FiルーターのSSIDが設定されると、SSIDの設定を変更できなくなります。</p>
BSS BasicRateSet	本製品と機器との制御通信フレームの通信速度を設定します。
Multicast Rate	マルチキャストパケットの通信速度を設定します。
802.11nプロテクション	従来規格の機器が混在している環境でも、コリジョンなどによって性能が低下しないようにする802.11nプロテクションを使用するかどうかを設定します。
DTIM Period	機器に通知するビーコン応答間隔(1～255)の設定をします。機器のパワーマネジメント設定を有効にした場合のみ、この設定が有効になります。
プライバシーモード	チェックを付けると、本製品に接続している機器同士の通信を禁止します。
送信出力	本製品がWi-Fi送信を行うときの電波送信出力を設定します。

MACアクセス制限

機器からのアクセスを制限する設定を行う画面です。

無線設定 > MACアクセス制限

無線パソコンの接続(2.4GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
無線パソコンの接続(5GHz)	<input type="checkbox"/> 制限する
登録リスト	
MACアドレス	接続状態
MACアドレスが登録されていません	
登録リストの編集	

項目	内容
無線パソコンの接続	機器からのWi-Fi接続を制限するかどうかを設定します。
登録リスト	<p>MACアクセス制限で、接続を許可する機器のMACアドレスが表示されます。MACアドレスの登録は、[登録リストの編集]をクリックして行います。</p> <p>MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。</p> <p>接続状態 リストに登録した機器が現在接続しているかどうかを表示します。接続中であれば「○」、未接続であれば「×」が表示されます。</p>
登録リストの編集	ボタンをクリックすると、登録したMACアドレスの編集画面が開きます。
登録するMACアドレス	<p>接続を許可する機器のMACアドレスを入力します。</p> <p>[新規追加]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。</p>
登録リスト	<p>MACアドレス MACアクセス制限で接続を許可するMACアドレスの一覧が表示されます。</p> <p>操作 登録しているMACアドレスの修正や削除を行います。</p>
検出された無線パソコン一覧	<p>本製品にWi-Fi接続している機器のMACアドレスをリストに登録できます。</p> <p>MACアドレス 本製品にWi-Fi接続している機器のMACアドレスが表示されます。</p> <p>操作 [登録]をクリックすると、MACアドレスがリストに登録されます。[現在の状態を表示]をクリックすると、現在の状態が表示されます。</p>

マルチキャスト制御

Wi-Fiに不要なマルチキャストパケットが転送されないように制限する設定を行う画面です。

無線設定 > マルチキャスト制御

Snooping 機能	<input checked="" type="checkbox"/> 使用する
マルチキャスト Aging Time	<input type="text" value="300"/> 秒

項目	内容
Snooping機能	IGMPなどのマルチキャスト管理パケットを監視し、不必要な有線・Wi-Fi各端子へのマルチキャストの転送を抑制するマルチキャストSnooping(スヌーピング)機能を使用するかどうかを設定します。
マルチキャストAging Time	マルチキャストSnooping機能によって学習した情報を保持する時間を1～3600(秒)の範囲で設定します。IGMP/MLDクエリー間隔よりも十分に大きな値を入力する必要があります。

EasyMesh/中継機能(WB)

EasyMesh/中継機能(WB)の設定を行う画面です。

無線設定 > EasyMesh/中継機能(WB)

接続情報	
接続状態	無線接続中(EasyMesh)
2.4 GHz (11ax/n/g/b)	
SSID	Buffalo-XX-XXXX
セキュリティ	WPA2/WPA3 Personal AES
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
5 GHz (11ax/ac/n/a)	
SSID	Buffalo-XX-XXXX
セキュリティ	WPA2/WPA3 Personal AES
MACアドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
WPA-PSK (事前共有キー)	XXXXXXXXXXXX
EasyMesh対応Wi-Fiルーターと接続する場合は、「Wi-FiルーターとのWPSを開始する」を実行してください。	
Wi-Fiルーターと無線接続	
EasyMeshまたは 中継機能(WB)で接続	Wi-FiルーターとのWPSを開始する
中継機能(WB)で接続	手動設定をする
端末と無線接続	
WPS	端末とのWPSを開始する
拡張設定	
EasyMesh	
高速ローミング(11r)	<input type="checkbox"/> 使用する
中継機能(WB)	
2.4GHz/5GHz 選択	5GHz 優先
本機のWi-Fiルーター機能を停止する場合は 2.4GHz(11ax/n/g/b) 及び 5GHz(11ax/ac/n/a) から無線機能を停止してください。	
設定	

項目	内容
接続状態	中継機能の状態を表示します。
SSID	本製品の接続先のSSIDが表示されます。
セキュリティ	接続先との接続で使用しているセキュリティの種類が表示されます。
MACアドレス	Wi-Fiルーターに接続する際の2.4GHzと5GHzのMACアドレスが表示されます。MACアクセス制限を使用する場合、こちらのMACアドレスをWi-Fiルーターに登録します。
WPA-PSK	現在設定されているWPA-PSKが表示されます。 Wi-Fiルーターと接続できないときに確認してください。
Wi-FiルーターとのWPSを開始する	Wi-FiルーターのWPSボタンを押してからこのボタンをクリックすると、Wi-FiルーターとのWPS接続を行います。

項目	内容
手動設定をする	ボタンをクリックすると、本製品周辺のWi-Fiルーターが検索されます。接続したいWi-Fiルーターを選択し、暗号化キーを入力すると、接続処理が完了します。
端末とのWPSを開始する	本製品に接続する機器でWPS接続を開始してからこのボタンをクリックすると、機器とのWPS接続を行います。
高速ローミング(11r)	EasyMeshでの接続において、高速ローミング(11r)を使用します。
2.4 GHz/5 GHz選択	AUTO/5 GHzスイッチが「AUTO」の場合に、本製品－Wi-Fiルーター間のWi-Fi接続に5 GHzを優先するか2.4 GHzを優先するかを設定します。AUTO/5 GHzスイッチが「5 GHz」の場合は、設定できません。

システム設定

本製品のシステムに関する設定をする画面です。

管理 > システム設定

システム情報

エアステーション名

XXXXXXXXXXXX

管理ユーザー名

admin (変更することはできません)

管理パスワード

.....

☐ パスワードを表示する

アクセス

有効	制限項目	パケット数
<input type="checkbox"/>	無線LANからの設定を禁止する	0
<input type="checkbox"/>	有線LANからの設定を禁止する	0

時刻

NTP機能

☒ 使用する

サーバー名

ntp.jst.mfeed.ad.jp

確認時間

24

時間毎

日付

2021

年

2

月

3

日

時刻

18

時

17

分

32

秒

現在の時刻を表示

現在アクセス中のパソコンから時刻を取得

項目	内容
エアステーション名	本製品の名称を半角英数字と「-」で、64文字までで設定します。
管理ユーザー名	本製品の設定画面へログインするときのユーザー名です。「admin」以外に変更できません。
管理パスワード	本製品の設定画面へログインするときのパスワードを半角英数字と「_」で、8文字までで設定します。
無線LANからの設定を禁止する	本製品にWi-Fi接続した機器から本製品の設定をできないようにします。
有線LANからの設定を禁止する	本製品に有線接続した機器から本製品の設定をできないようにします。
NTP機能	NTPサーバーを使って本製品の内部時計を設定するかどうかを指定します。

項目	内容
サーバー名	NTPサーバーの名称をホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
確認時間	NTPサーバーに時刻を問い合わせる周期(1～24時間ごと)を設定します。
日付	本製品の内部時計の日付を手動で設定します。
時刻	本製品の内部時計の時刻を手動で設定します。

ログ

syslogによる本製品のログ情報を転送するための設定を行う画面です。

管理 > ログ

syslog設定

ログ情報転送機能	<input type="checkbox"/> 使用する
syslogサーバー	<input type="text"/>
転送するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター <input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント <input checked="" type="checkbox"/> WPS <input checked="" type="checkbox"/> 無線 <input checked="" type="checkbox"/> 認証 <input checked="" type="checkbox"/> 設定変更 <input checked="" type="checkbox"/> システム起動 <input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント <input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク <input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー
<input type="button" value="すべて選択"/> <input type="button" value="すべて解除"/>	

[拡張設定]

詳細なログ取得	<input type="checkbox"/> アクセスフィルター
---------	------------------------------------

項目	内容
ログ情報転送機能	ログ情報転送機能を使用するかどうかを設定します。
syslogサーバー	syslogサーバーのアドレスをホスト名、ドメイン名つきホスト名、IPアドレスのいずれかで設定します。
転送するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。

設定管理/再起動

本製品の設定の保存、復元や初期化、再起動を行う画面です。

管理 > 設定管理/再起動

設定管理

操作

☒ 設定ファイルを保存する
☐ 設定ファイルを復元する
☐ 設定を初期化する

パスワード

☐ パスワードを使用する

☐ パスワードを表示する

設定操作実行

再起動

再起動

エアステーションを再起動します。

項目	内容
操作	<p>操作内容を選択します。</p> <p>設定ファイルを保存する 本製品の設定内容を設定ファイルに保存します。[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルをパスワードで暗号化する場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。</p> <p>設定ファイルを復元する 本製品の設定を、設定ファイルから復元します。 「設定ファイル」欄の[ファイルを選択]をクリックして設定ファイルを指定し、[設定操作実行]をクリックしてください。 設定ファイルがパスワードで暗号化されている場合は、「パスワードを使用する」にチェックを入れ、[設定操作実行]をクリックしてください。</p> <p>設定を初期化する 本製品の設定を初期化して、再起動します。[設定操作実行]をクリックしてください。</p>
再起動	<p>クリックすると、本製品が再起動します。</p>

ファームウェア更新

本製品のファームウェアを更新するための画面です。


管理 > ファームウェア更新

ファームウェアバージョン	WEX-1800AX4EA Ver.x.xx
更新方法	<input checked="" type="radio"/> ローカルファイル指定 <input type="radio"/> 自動更新(オンラインバージョンアップ)
ファームウェアファイル名	<input type="button" value="参照..."/> ファイルが選択されていません。

※ファームウェアは、下のリンクからダウンロードできます。

[ファームウェアダウンロードサイト](#)

[拡張設定]



ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う ▼
現在時刻	2021年1月1日(金曜日) 04:27 <input type="button" value="現在の状態を表示する"/>
更新時刻	毎日 4:00 - 4:59 ▼

項目	内容
ファームウェアバージョン	現在のファームウェアバージョンを表示します。
更新方法	ファームウェアの更新方法を設定します。 ローカルファイル指定 パソコンに保存されているファームウェアファイルを使用して更新を行います。 自動更新(オンラインバージョンアップ) インターネットから自動的に最新のファームウェアファイルをダウンロードして更新を行います。
ファームウェアファイル名	「ローカルファイル指定」時にファームウェアファイル名を指定します。

項目	内容
ファームウェア自動更新機能	<p>ファームウェアの自動更新方法を設定します。</p> <p>重要な更新のみ行う セキュリティに関わる脆弱性の対応など、重要な更新があった場合、ファームウェアを自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>常に最新版に更新する 本製品の新しいファームウェアがリリースされると、自動的にダウンロードして本製品へ適用します。</p> <p>更新せずに通知のみ行う 新しいファームウェアがリリースされたときに、設定画面に通知します。本製品への適用は行いません。</p> <p>更新しない 新しいファームウェアがリリースされても、設定画面への通知や本製品へ適用は行いません。</p>
現在時刻	現在の時刻が表示されます。
更新時刻	自動更新を行う時間帯を設定します。

システム

本製品の現在の状態が表示されます。

ステータス > システム

製品名	WEX-1800AX4 Version xxx (xxxx /xxxxxx)	
エーステーション名	xxxxxxxxxxxxxx	
LAN	IPアドレス取得方法	DHCPサーバーからIPアドレスを自動取得
	接続状態	通信中
	操作	解放 書き換え
	IPアドレス	192.168.11.3
	サブネットマスク	255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	192.168.11.1
	DNS II(プライマリー)	192.168.11.1 (自動取得)
	ホスト名	xxxxxxxxxxxxxx
	ドメイン名	
	MTU値	1500
接続先	DHCPサーバーアドレス	192.168.11.1
	リース取得時刻	2021/05/25 09:47:43
	リース期限	2021/05/27 09:47:43
	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
	接続状態	無線接続中(EasyMesh)
	SSID	Buffalo-xx-xxxx
	認証方式	WPA2/WPA3 Personal
	暗号化	AES
	無線チャンネル	52 (5 GHz)
	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
無線(2.4 GHz)	無線状態	制限なし
	SSID	Buffalo-G-xxxx
	認証方式	WPA2-Personal
	暗号化	AES
	ANN接続	許可する
	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
	SSID	Buffalo-G-xxxx-WPA3
	認証方式	WPA3-Personal
	暗号化	AES
	ANN接続	許可する
無線(5 GHz)	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
	SSID	Buffalo-G-xxxx
	認証方式	WPA/WPA2-mixed mode-Personal
	暗号化	TKIP/AES-mixed mode
	SSID	Buffalo-G-xxxx
	認証方式	WPA/WPA2-mixed mode-Personal
	暗号化	TKIP/AES-mixed mode
	ブライバシーモード	使用しない
	無線チャンネル	1 (自動設定)
	伝送モード	20 MHz
無線(5 GHz)	無線状態	制限なし
	SSID	Buffalo-A-xxxx
	認証方式	WPA2-Personal
	暗号化	AES
	ANN接続	許可する
	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
	SSID	Buffalo-A-xxxx-WPA3
	認証方式	WPA3-Personal
	暗号化	AES
	ANN接続	許可する
無線(5 GHz)	MACアドレス	xxxxxxxxxxxxxx
	SSID	Buffalo-A-xxxx
	認証方式	WPA/WPA2-mixed mode-Personal
	暗号化	TKIP/AES mixed mode
無線(5 GHz)	SSID	Buffalo-A-xxxx
	認証方式	WPA/WPA2-mixed mode-Personal
無線(5 GHz)	暗号化	TKIP/AES mixed mode
	暗号化	TKIP/AES mixed mode

項目	内容
製品名	本製品の製品名とファームウェアのバージョンが表示されます。
エーステーション名	エーステーション名が表示されます。
LAN	LAN側の情報が表示されます。
接続先	接続しているWi-Fiルーターの情報が表示されます。
無線(2.4 GHz)	2.4 GHz帯の情報が表示されます。
無線(5 GHz)	5 GHz帯の情報が表示されます。

ログ

本製品に記録されているログ情報を確認する画面です。

ステータス > ログ

表示するログ情報	<input checked="" type="checkbox"/> IPフィルター	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> WPS	<input checked="" type="checkbox"/> 無線
	<input checked="" type="checkbox"/> 認証	<input checked="" type="checkbox"/> 設定変更
	<input checked="" type="checkbox"/> システム起動	<input checked="" type="checkbox"/> NTPクライアント
	<input checked="" type="checkbox"/> 有線リンク	<input checked="" type="checkbox"/> DHCPサーバー
<input type="button" value="表示"/> <input type="button" value="すべて選択"/> <input type="button" value="すべて解除"/>		
ログ情報		
<input type="button" value="ファイル(logfile.log)に保存する"/> <input type="button" value="消去"/>		
日付時刻	種類	ログ内容

項目	内容
表示するログ情報	表示するログ情報の種類を設定します。
ログ	本製品に記録されているログ情報が表示されます。

通信パケット

本製品が通信したパケットの合計を確認する画面です。

ステータス > 通信パケット

インターフェース	送信パケット数		受信パケット数	
	正常	エラー	正常	エラー
LAN側有線	27769	0	19418	0
LAN側無線(2.4GHz)	0	0	0	0
LAN側無線(5GHz)	0	0	0	0
中継機能(2.4GHz)	1702	0	2571	0
中継機能(5GHz)	0	0	0	0
<input type="button" value="現在の状態を表示"/>				

項目	内容
送信パケット数	LAN側有線/LAN側無線/中継機能で送信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。
受信パケット数	LAN側有線/LAN側無線/中継機能で受信したパケット数とエラーパケット数が表示されます。

診断

本製品からネットワーク上のほかの機器との接続確認を行う画面です。

ステータス > 診断

宛先アドレス

実行

実行結果

宛先

未入力

実行結果

未実行

項目	内容
宛先アドレス	接続確認を行う機器のIPアドレスまたはホスト名を入力し、[実行]をクリックすると、「実行結果」欄に結果が表示されます。


第3章 困ったときは

Wi-Fi接続が切れる/不安定、通信が遅い

原因1 本製品やWi-Fiルーターの動作が不安定になっている


本製品やWi-Fiルーターへの負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったんWi-FiルーターのACアダプターまたは本製品をコンセントから抜いて、もう一度挿してください。


原因2 本製品とWi-Fiルーター、または本製品と機器との距離が遠い

本製品とWi-FiルーターやWi-Fi接続している機器との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の親機接続ランプ()が速く緑色に点滅している場合は、Wi-Fiルーターに近づけるなどして、ランプが緑色に点灯する場所またはゆっくり緑色に点滅する場所を探してください。すでにそのような場所に設置している場合は、Wi-Fiルーターや本製品にWi-Fi接続している機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3 機器がWi-Fiルーターにつながっている

機器とWi-Fiルーターが接続された状態で本製品の中継設定を行うと、機器が本製品に近い場所にあっても、離れた場所にあるWi-Fiルーターに接続したままになることがあります。

本製品の子機接続ランプ()が緑色に点灯しているかどうかを確認してください(本製品に接続している機器が1台もないときは、消灯しています)。

子機接続ランプ()が消灯している場合、または緑色に点灯していてもつながらない場合は、機器のWi-Fi機能をOFFにしてからもう一度ONにしてください。本製品に接続しているかどうかわからない場合は、中継機用SSIDに接続してください。中継機用SSIDへの接続手順は、[「中継機用SSIDの使用\(EasyMeshでの接続時を除く\)」\(P.23\)](#)を参照してください。

原因4 本製品またはWi-Fiルーター周辺の電波環境が悪い

本製品とWi-Fiルーターや本製品とWi-Fi接続している機器が2.4 GHz帯で接続している場合、電子レンジなど、本製品と同じ2.4 GHz帯の電波を発する機器が本製品やWi-Fiルーターの周囲で動作していると、Wi-Fiによる通信が不安定になることがあります。

それらの機器を本製品やWi-Fiルーターから遠ざけるか、使用を一時的に中断してください。2.4 GHz帯の電波を発する機器がコードレス電話などであり、本製品やWi-Fiルーターから遠ざけることができない場合は、Wi-Fiルーターの取扱説明書を参照して、無線チャンネルを変更してください。

メモ: 2.4 GHzのチャンネルを設定する場合は、電波干渉の低減や周波数利用効率向上のため、チャンネルを1、6、11のいずれかの設定をおすすめします。

原因5 本製品またはWi-Fiルーターのファームウェアが古い

上記の対策を行っても本製品とのWi-Fi接続が切れたり不安定な状況が続いたりする場合は、本製品またはWi-Fiルーターのファームウェアを最新版に更新してください。

原因6 Wi-Fiルーターが省電力モードで動作している


Wi-Fiルーターで節電機能を使用している場合、設定内容によっては、Wi-Fi接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、Wi-Fi接続できるように設定してください。

Wi-Fiでつながらない

原因1 本製品やWi-Fiルーターの動作が不安定になっている

本製品やWi-Fiルーターへの負荷などにより、動作が不安定になっていることが考えられます。いったん本製品またはWi-Fiルーターの電源をOFFにして、もう一度ONにしてください。


原因2 本製品とWi-Fiルーター、または本製品と機器との距離が遠い

本製品とWi-FiルーターやWi-Fi接続している機器との距離が遠いため、電波が十分に届いていないことが考えられます。本製品の親機接続ランプ()が速く緑色に点滅している場合は、Wi-Fiルーターに近づけるなどして、ランプが緑色に点灯する場所またはゆっくり緑色に点滅する場所を探してください。すでにそのような場所に設置している場合は、Wi-Fiルーターや本製品にWi-Fi接続している機器を本製品に近づけるか、周囲に障害物がある場合は障害物を移動するなど、見通しをよくしてください。

原因3 セキュリティソフトが動作している

Wi-Fi接続する機器にウイルス対策ソフトなどのセキュリティソフトがインストールされている場合、Wi-Fi接続設定に失敗することがあります。いったんセキュリティソフトを終了して、Wi-Fi接続設定を完了させてからセキュリティソフトを起動してください。

原因4 Wi-Fi接続の設定が間違っている

Wi-Fi接続の設定が間違っていると、本製品にWi-Fiで接続できません。本製品がWi-Fiルーターに正しく接続しているかを確認してください。Wi-Fiルーターと接続しているときは、本製品の親機接続ランプ()が緑色に点灯/点滅します。

原因5 本製品やWi-FiルーターにANY接続拒否やMACアクセス制限が設定されている

本製品やWi-FiルーターにANY接続拒否の設定がされていると、機器から検索しても表示されません。その場合は、ANY接続拒否を解除してから接続してください。

本製品やWi-FiルーターにMACアクセス制限の設定がされていると、登録していない機器からはWi-Fi接続できません。機器のMACアドレスを本製品またはWi-Fiルーターに登録してからWi-Fi接続してください。

また、Wi-FiルーターにMACアクセス制限が設定されている場合は、[「Wi-FiルーターのMACアクセス制限設定を本製品にも適用する」\(P.30\)](#)を参照して、本製品のMACアドレスをWi-Fiルーターに登録する必要があります。

原因6 Wi-Fiルーターが省電力モードで動作している

Wi-Fiルーターの節電機能を使用している場合、設定内容によっては、Wi-Fi接続できない場合があります。節電機能のスケジュール登録を変更するなどして、Wi-Fi接続できるように設定してください。

設定画面が表示できない

原因1 本製品の動作が不安定になっている

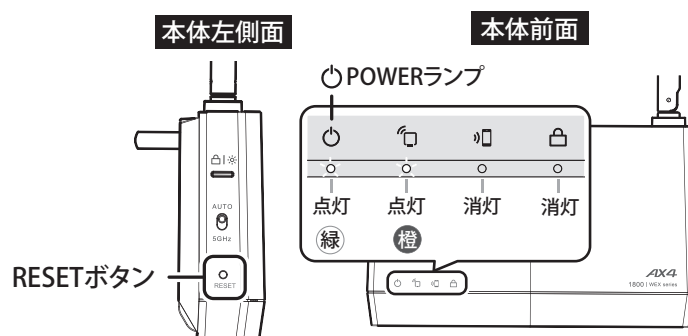
本製品への負荷などにより、本製品の動作が不安定になっていることが考えられます。本製品をコンセントから取り外し、もう一度取り付けなおしてください。

原因2 設定用機器が本製品に接続されていない


「エアステーション設定ツール」を使用しても本製品が表示されない場合は、設定用機器が接続しているネットワークに本製品が接続していない可能性があります。本製品に確実に接続するために、中継機用SSIDに接続してください。[「中継機用SSIDの使用\(EasyMeshでの接続時を除く\)」\(P.23\)](#)を参照してください。

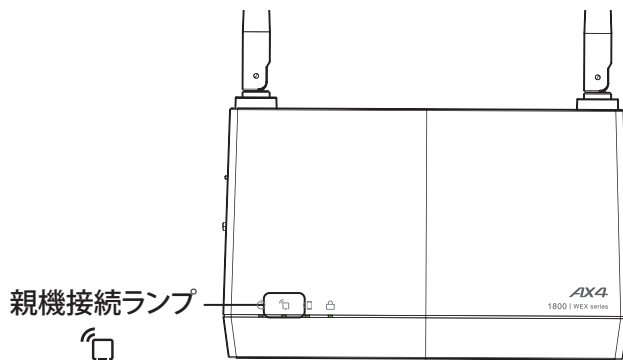
設定を出荷時の状態に戻したい

本製品の設定を出荷時の状態に戻したい場合は、本体側面のRESETボタンを先の細いもの(つまようじなど)でカチッというまで押し込み、POWERランプが点滅(約5秒間)するまで押し続けてください。その後ランプが以下の点灯状態になるまでお待ちください。



EasyMeshで接続できないときは

EasyMeshで接続できないときは、本製品の親機接続ランプ()を確認してください。



緑色に点滅している

コントローラと本製品との通信が良好ではありません。本製品の設置位置をコントローラの近くに移動させてください。通信が良好になると緑色に点灯します。

橙色に点灯している

コントローラが設定されていません。[「EasyMeshを使うための設定手順」\(P.17\)](#)に記載の手順を再度行ってください。

緑色と橙色の点滅を繰り返している

コントローラと本製品が接続できていません。

コントローラの電源スイッチをONにし、コントローラに近い位置に移動し、本製品をコンセントに取り付けてください。

橙色に早く点滅している

メッシュネットワーク内でコントローラとの有線接続でエラーが発生しています。LANケーブルを接続しなおしてください。改善しないときは、別のLANケーブルで確認してください。

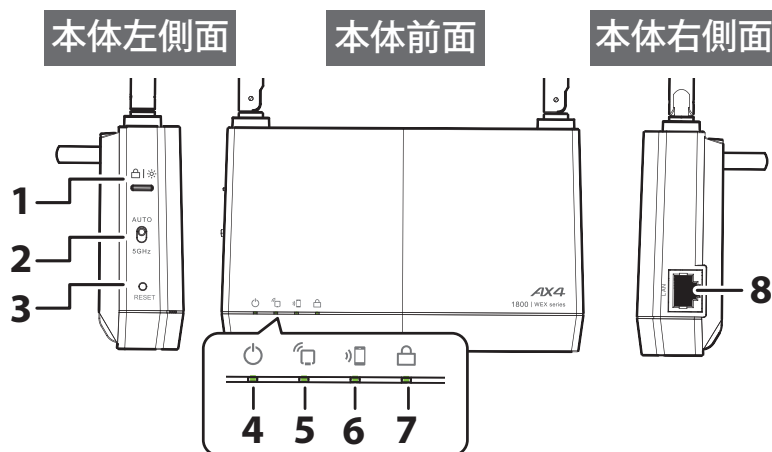
第4章 付録

製品仕様

無線LANインターフェース	
準拠規格(最大転送速度)	5 GHz: IEEE 802.11ax:1201Mbps (80MHz 2x2) IEEE 802.11ac:866Mbps (80MHz 2x2) IEEE 802.11n:300Mbps (40MHz 2x2) IEEE 802.11a:54Mbps 2.4 GHz: IEEE 802.11ax:573Mbps (40MHz 2x2) IEEE 802.11n:400Mbps (40MHz 2x2) IEEE 802.11g:54Mbps IEEE 802.11b:11Mbps 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
伝送方式	多入力多出力直交周波数分割多重変調(MIMO-OFDM)方式 直交周波数分割多重変調(OFDM)方式 直接拡散型スペクトラム拡散(DS-SS)方式 単信(半二重)
周波数範囲(中心周波数)	5 GHz: W52 36/40/44/48ch(5180~5240MHz) W53 52/56/60/64ch(5260~5320MHz) W56 100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140/144ch(5500~5720MHz) 2.4 GHz: 1~13ch(2412~2472MHz) 本製品と同一の周波数帯を使用する機器がある場合、電波干渉により通信速度が遅くなるなどの障害が発生する可能性があります。
セキュリティ	WPA3 Personal、WPA2 Personal、WPA2/WPA3 Personal、WPA/WPA2 Personal、WEP(128bit/64bit)、プライバシーセパレーター、ANY接続拒否/SSIDステルス、MACアクセス制限
有線LANインターフェース	
準拠規格	IEEE 802.3 ab(1000BASE-T)/IEEE 802.3u(100BASE-TX)/ IEEE 802.3(10BASE-T)
データ転送速度	1000/100/10Mbps(自動認識) 表示の数値は理論上の最大値であり、実際の転送速度を示すものではありません。
データ伝送モード	半二重/全二重(自動認識)
伝送路符号化方式	8B1Q4/PAM5(1000BASE-T)/4B5B/MLT-3(100BASE-TX)/マンチェスターコーディング(10BASE-T)

スイッチング方式	ストア&フォワード方式
端子	1000 BASE-T/100 BASE-TX/10 BASE-T 兼用端子(AUTO-MDIX)
その他	
電源	AC 100 50/60Hz
消費電力	11.3W(最大)
外形寸法	140(W)×87(H)×33(D)mm(突起物を含まず)
質量(本体のみ)	251g
動作環境	0～40℃、10～85%(結露しないこと) 本製品は屋内使用に限ります。

各部の名称とはたらき



1 WPSボタン

WPS設定やランプの消灯・点灯設定を行うボタンです。ボタンを押す間隔によって動作が異なります。

約1秒押す	ランプの消灯・点灯
約2秒以上長押し	WPSの開始

メモ:

- ・ ランプを消灯する設定を行っても、電源を入れ直すと元の状態(ランプが点灯する状態)に戻ります。
- ・ ご購入時の状態で行うWPS設定は、本製品-Wi-Fiルーター間の接続設定に対して適用されます。それ以降のWPS設定は、本製品-お使いの機器間の接続に対して適用されます。
- ・ WPS中または初期化中は、WPSボタンは無効になります。

2 AUTO/5GHzスイッチ

本製品とWi-FiルーターとのWi-Fi接続に使用する帯域を設定します。

AUTO	Wi-Fiルーターと2.4GHzまたは5GHzでWi-Fi接続します。
5GHz	Wi-Fiルーターと5GHzでWi-Fi接続します。Wi-Fiルーターが5GHzを使用できないときは、Wi-Fi接続できません。

メモ: Wi-Fiルーターとの接続設定を行った後にスイッチを切り替えると、Wi-Fiルーターとの接続が切断されます。Wi-Fiルーターとの通信帯域を変更する場合は、スイッチを切り替えた後にRESETボタンを先の細いもの(つまようじなど)で押して初期化してから接続設定を行ってください。

3 RESETボタン

本製品の設定をご購入時の状態に戻すボタンです。先の細いもの(つまようじなど)でカチッというまで押し込み、POWERランプが点滅(約5秒間)するまで押し続けてください。POWERランプが緑色に点灯したら、本製品の設定をご購入時の状態に戻ります。

4 POWERランプ

点灯(緑)	電源がONのとき
点滅(緑)	システム起動中、終了中、または初期化中
点灯(橙)/点滅(橙)	エラー発生時
点滅(緑と橙の繰り返し)	ファームウェアの更新中
消灯	電源がOFFのとき、およびランプ消灯設定時

メモ: エラー発生時は、本製品をコンセントに挿しなおしてください。再びランプが同じように橙色に点灯/点滅している場合は、当社サポートセンターにお問い合わせください(付属の **1** はじめにお読みください)に記載のお問い合わせ先を参照してください。

5 親機接続ランプ

Wi-Fiルーターとの通信状態をあらわしています。

点灯(緑)	Wi-Fiルーターとの通信状態が良好なとき
点滅(緑)	Wi-Fiルーターとの通信状態は良好ではないが、通信は可能なとき
高速点滅(緑:0.1秒間隔)	Wi-Fiルーターとの通信状態が悪いとき
点灯(橙)	Wi-Fiルーターと接続設定を行っていないとき
点滅(橙)	Wi-Fiルーターとの接続設定後にWi-Fiルーターと接続していないとき
高速点滅(橙:0.1秒間隔)	メッシュネットワーク内のコントローラと有線接続エラー発生時
点滅(緑と橙の繰り返し)	メッシュネットワーク内のコントローラやエージェントと未接続時
消灯	ランプ消灯設定時

6 子機接続ランプ

点灯(緑)	パソコンなどの機器が本製品にWi-Fi接続しているとき
消灯	パソコンなどの機器が本製品にWi-Fi接続していないとき、およびランプ消灯設定時

7 WPSランプ

点灯(緑)	WPSが成功したとき(成功後約5分間のみ点灯)
2回ずつ点滅(緑)	WPS待ち受け状態
高速点滅(緑:0.1秒間隔)	WPSに失敗したとき
消灯	WPSを使用していないとき、およびランプ消灯設定時

8 LAN端子

パソコンやハブなどを接続します。1000/100/10Mbpsに対応しています。

初期設定一覧

機能	設定項目	出荷時設定
LAN	LAN側IPアドレス	IPアドレス: 192.168.11.210 サブネットマスク: 255.255.255.0
	デフォルトゲートウェイ	—
	DNS(ネーム)サーバーアドレス	—
2.4 GHz(11ax/n/g/b)	基本設定	
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	自動
	倍速モード	286Mbps(20MHz)
	SSID 1	
	SSID 1	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-Personal
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK(事前共有キー)	本製品に付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	ANY接続	許可する
	SSID 2	
	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA3-Personal
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK(事前共有キー)	本製品に付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	ANY接続	許可する
	SSID 3	
	SSID 3	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定 (Wi-Fiルーターと接続後はWi-FiルーターのSSIDが設定されます)
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	ANY接続	許可する
	拡張設定	
	BSS BasicRateSet	1, 2, 5.5, 11Mbps
	Multicast Rate	1Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
	プライバシーモード	使用しない
	送信出力	100%

機能	設定項目	出荷時設定
5 GHz(11ax/ac/n/a)	基本設定	
	無線機能	使用する
	無線チャンネル	36
	倍速モード	1201Mbps(80MHz)
	SSID 1	
	SSID 1	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA2-Personal
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK (事前共有キー)	本製品に付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	ANY接続	許可する
	SSID 2	
	SSID 2	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定
	無線の認証	WPA3-Personal
	無線の暗号化	AES
	WPA-PSK (事前共有キー)	本製品に付属のセットアップカードに記載の値
	Key更新間隔	0分
	ANY接続	許可する
	SSID 3	
	SSID 3	使用する
	SSID	エアステーションのMACアドレスを設定 (Wi-Fiルーターと接続後はWi-FiルーターのSSIDが設定されます)
	無線の認証	認証を行わない
	無線の暗号化	暗号化なし
	ANY接続	許可する
	拡張設定	
	BSS BasicRateSet	6, 12, 24Mbps
	Multicast Rate	6Mbps
	802.11nプロテクション	使用しない
	DTIM Period	1
	プライバシーモード	使用しない
	送信出力	100%
MACアクセス制限	無線パソコンの接続	制限しない
	登録リスト	未登録
マルチキャスト制御	Snooping機能	使用する
	マルチキャストAging Time	300秒

機能	設定項目	出荷時設定
EasyMesh/中継機能(WB)	接続状態	未接続
	2.4 GHz/5 GHz選択	5 GHz優先
	高速ローミング(11r)	使用しない
システム設定	エアステーション名	AP + 本製品のMACアドレス
	管理ユーザー名	admin(変更することはできません)
	管理パスワード	password
	無線LANからの設定を禁止する	無効
	有線LANからの設定を禁止する	無効
	NTP機能	使用する
	サーバー名	ntp.jst.mfeed.ad.jp
	確認時間	24時間毎
ログ	ログ情報転送機能	使用しない
	syslogサーバー	未設定
	転送するログ情報	IPフィルター、DHCPクライアント、WPS、無線、認証、設定変更、システム起動、NTPクライアント、有線リンク、DHCPサーバー
	詳細なログ取得	無効
ファームウェア更新	更新方法	ローカルファイル指定
	ファームウェア自動更新機能	重要な更新のみ行う
	更新時刻	毎日4:00～4:59

電波に関する注意

- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、工事設計認証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内でのみ使用できます。
- 本製品は、工事設計認証を受けていますので、以下の事項をおこなうと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解/改造すること
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- W52、W53は、電波法により屋外での使用が禁じられています。
- 本製品は、次の場所で使用しないでください。
電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害が発生するところ、2.4 GHz付近の電波を使用しているものの近く（環境により電波が届かない場合があります。）
- 本製品の使用する無線チャンネル(2.4GHz帯の1～13チャンネル)は、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。
 - 産業・科学・医療用機器
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局(免許を要する無線局)
 - (2) 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
- 本製品を使用する際は、上記の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。
 - 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに本製品の使用周波数を変更して、電波干渉をしないようにしてください。
- その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サポートセンターへお問い合わせください。

使用周波数	2.4GHz
変調方式	OFDM方式/DS-SS方式
想定干渉距離	40m以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内無線局」「特定小電力無線局」帯域を回避可能

- 「新4K8K 衛星放送」と本製品は、相互に電波干渉を引き起こすことがあります。
シールド性能の高い衛星放送用受信設備を使用してください。
詳しくは、総務省のホームページ「4K 放送・8K 放送 情報サイト」(https://www.soumu.go.jp/menu_seisaku/ictseisaku/housou_suishin/4k8k_suishin/radio-frequency-interference.html)を参照してください。



Wi-Fi(無線LAN)製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

Wi-Fi(無線LAN)では、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等とWi-Fiアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

不正に侵入される

- ・ 悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、Wi-Fi(無線LAN)製品は、セキュリティに関する仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)
「無線LANのセキュリティに関する注意事項」より

免責事項

- 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んだの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、当社ではいかなる責任も負いかねます。設備や設計、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 本製品は、日本国内での使用を前提に設計・製造されています。日本国外での使用における故障・不具合についての責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 当社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合には、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、当社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、当社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。
- 本製品に契約の不適合があった場合、無償にて当該契約不適合を修補し、または契約不適合のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該契約不適合に基づく損害賠償の責に任じません。
- 本書に記載された責任は、日本国内においてのみ有効です。

商標・登録商標

AirStation™は、株式会社バッファローの商標です。本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では一部を除き、™、®、©などのマークは記載していません。